

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013001	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2K(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西原 真弓 / Nishihara Mayumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西原 真弓 / Nishihara Mayumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西原 真弓 / Nishihara Mayumi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2K(英1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishihara_kwassui.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	nishihara@kwassui.ac.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後に質問を受けます。それ以外はメールで質問を受け付けます。nishihara@kwassui.ac.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	英語で、4技能(読む、聞く、話す、書く)を駆使しながら、情報を正確に理解し、自分が発信したいことを論理的にわかりやすく表現する能力を身につけることを目的とした授業です。「環境と健康」をテーマとし、我々を取り巻く環境や日々の生活習慣が健康に及ぼす影響について理解を深め、自分の意見を英語で発信していくことを目的としています。		
授業到達目標/Course goals	この授業を通して、以下のような力をつけていくことを目標としています。 1. 環境と健康をテーマとした読み物や会話を英語で理解し、その概要をわかりやすくまとめたり、自分の意見を英語で発信することができるようになる。 2. 英単語のコアのイメージを捉え、英語発信に必要な英語の表現力の幅をひろげることができる 3. グループディスカッションやペアワーク、プレゼンテーション等を通して、主体的に、協働的に課題に取り組むことができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト40% + プレゼンテーション(2回)20% + 定期試験(毎回のクイズを含む)40% = 合計100点のうち、60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	語学学習は授業中の学習だけでは十分ではないため、英語表現の幅を広げるため、家庭学習をしっかり行ってください。また、大学が指定しているe-learning教材もコツコツ毎日取り組むようにしてください。		
キーワード / Keywords	英語運用能力、主体的、協働的、プレゼンテーション		
教科書・教材・参考書 / Materials	西原俊明、西原真弓、Pino Cutrone 『NHK NEWSLINE』(金星堂)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	ニュースの聞き取りだけでなく、それをもとに自分の考えや情報の共有をペアやグループでもらいます。 自分から考えて行動することでグループワークを有意義なものにし、英語をできるだけたくさん使うようにしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
43563	Unit 1 What Country is the Fattest in the World?
43570	Unit 2: What Do We Know about Sleep Talking?
43577	Unit 3 Why Are Bug Bites Dangerous?
43598	e-learning教材学習テスト 一回目 Unit 4 What Kind of Bacteria Can Be Found in the Great Barrier Reef?
43605	Unit 5 How Much Caffeine Can We Take?
43612	Unit 6 How Does the Love Hormone Oxytocin Work to Improve Relationship?
43619	Unit 7 What Can Happen When You're Too Clean?
43626	Presentation (Group)
43633	Unit 8 Does Gender Affect Cancer Susceptibility?
43640	Unit 9 Why Do Many of Us Develop Fear of Heights with Age?
43647	e-learning 教材学習テスト二回目 Unit 10 What Are the Dangers of a Sweltering Summer?
43654	Unit 11 Which Makes A better Athlete, Being a Night Owl or an Early Bird?
43662	Unit 12 How Better to Release Your Stress?
43668	Unit 13 What Are the Differences between Real and Robotic Pets?
43675	Presentation (個人)
43682	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013002	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2K(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call12)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	環境 2K(英2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	etsukolawn hotmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、またはメールにて質問を受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>本授業では、大学や社会で必要とされる英語の基礎能力の習得を目指します。英語は、世界とつながるための有効なツールです。今後、英語を使えるようになると、あなたの世界はグローバル単位で大きく広がりますし、職業上でも様々なチャンスを得られる機会が増えることでしょう。本授業では、皆さんになかなか機会のない英語の「話す」「書く」のアウトプットの能力の向上を目指す活動に慣れ親しんでもらい、これまでの「知識としての英語」から実際に「使える」コミュニケーション能力を1つでも多く身につけてもらうことを目指します。</p> <p>授業では、上記の目標を達成するために必要な表現・スキルの説明と演習をします。さらに授業内容を定着するために、ほぼ毎レッスン小テストを行います。テキストをベースに基礎的なコミュニケーションに役に立つような表現を学習していきます。また、新しい語彙、表現力を増やすためにネイティブスピーカーの生活圏にある素材を用いた教材、洋画 (DVD視聴) を使用し、Readers' theater (朗読劇) などの活動を通して日本人学習者の苦手なイントネーション、単語のつなぎ方、間の取り方などの改善を図り、ペアワーク、グループワークをより多く取り入れて授業を進めていきます。英語圏の文化、習慣の違いにも触れていきます。</p> <p>1回の授業は、以下の流れで進めていきます。</p> <p>(1) LACSによる小テスト</p> <p>(2) テキストを使用した演習 (グループワーク、Readers' theater 等の学習を含む)</p> <p>(3) 3分間英語で (フリーorトピック) トーク 録音 ディクテーション & 自己評価</p> <p>(4) 洋画視聴 (5分程度)</p> <p>提出されたグループワーク等は、添削評価して返却します。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>(1) 異文化について書かれたトピックの英文を要約できるようになる。</p> <p>(2) 与えられた写真 (あるいは絵) を見て的確に英語で表現することができるようになる。</p> <p>(3) やや簡易な会話を聞いて要約できるようになる。</p> <p>(4) その会話の和訳を英訳できるようになる。</p> <p>(5) 与えられたトピックについて3分間会話を続けることができるようになる。</p> <p>(6) 洋画を英語音声、英語字幕で視聴し、内容をある程度理解することができるようになる。</p> <p>(7) 洋画のある映像の発音、イントネーション、間等を練習しネイティブにより近い発音で音読できるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験20%、授業中への取り組み、小テスト、グループワーク、Readers' theater 40%、課外学習のe-learning(e-Learning教材学習テスト2回40% (3 Step Call System, Power Words))を総合的に判断します。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各自テキスト付属のOnline Self -study、配布物等を使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。
キーワード/Keywords	リピーティング、ディクテーション、音読
教科書・教材・参考書/Materials	教科書としてJack C. Richards・David Bohlke 著『Four Corners 3 Student's Book B with Online Self -study』Cambridge University Press - ISBN:978-1-108-55982-9を使用します。 *第1回目の授業までに、必ず生協の販売コーナーで各自購入して下さい。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	教科書、配布物を毎回持参、また毎回授業に出席すること(時間厳守)。 学習する内容は、きちんと予習、復習すること!
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	英語が話せる(使える)と世界(チャンス)が広がります。今できることをどんどんトライして下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月8日	第1回のオリエンテーションの授業では、授業で扱う内容や学習方法、授業の進め方、評価方法などを説明します。また、Self-introduction、DVD視聴も予定しています(2回目以降も継続的に視聴)。 授業は、演習形式で行います。授業では、眠ったボキャブラリー&表現を「使える」英語へと変えるために、受講生には、ペアワーク、グループワークを通して出来る限りアウトプット能力を高めるためにスピーキング&ライティングなどの機会を設けます。特にスピーキングの明瞭さを向上させるために、DVDの視聴、補助教材も適宜使用しReaders' theater(朗読劇)などの活動を通して、イントネーション、間の取り方などに焦点をあてて練習していきます。またスピーキングの弱点を克服するために、自分の会話を録音して接続表現、学習した表現が適切に使われているか等確認しながら練習していきます。会話の練習を何度も繰り返すことにより、日本語と英語の発想の違いなどを体感してほしいと思います。テキスト付属のOnline Self -studyを使用し必ず予習、復習をして授業に臨んで下さい。また本授業では、e-learning教材を課外学習として取り組んでもらいます(評価40%)。 *(G/W) Group workの省略
第2回 4月15日	テキスト Relationships
第3回 4月22日	Relationships *(G/W), ?@, e-learning復習他
第4回 5月13日	1回目e-learning 教材学習テスト(3step, Power words), Relationships
第5回 5月20日	Relationships
第6回 5月27日	テキスト Environment
第7回 6月3日	Readers' theater ?@ (G/W)
第8回 6月10日	Environment
第9回 6月17日	Environment (G/W)
第10回 6月24日	Environment, e-learning復習他
第11回 7月1日	2回目e-learning教材学習テスト(3step, Power words), テキスト On Vacation,
第12回 7月8日	On Vacation (G/W) / Readers' theater ?A,
第13回 7月16日	On Vacation
第14回 7月22日	On Vacation, Review
第15回 7月29日	Review
第16回 8月5日	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013003	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2K(英3)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2K(英3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sayaka.university gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	sayaka.university gmail.com		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 12:10~12:30 (メールにて事前に連絡必要)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	学生中心のアクティブラーニング型の授業です。今までインプットした単語や文法力などを存分に生かしアウトプットすることによって英語の総合力向上を目指します。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1・英語使用のトレーニングを通し、抵抗なく英語を使えるようになる。 2・音読練習を通し単語力・発音・リスニング力を向上させることができる。 3・主体性をもって他者と協働し、プレゼンテーション成功の為に自ら考え実行に移すことができるようになる。 4・e-learningを通したinputと授業中に行うoutputの練習を通しバランスよく英語の総合力向上することができる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers 様々なテーマについて英語で会話をします。瞬発的に自分の意見をまとめ発話します。		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み(10点) + プレゼンテーショングループ評価(20点) + 定期試験(20点) + レポート提出(10点) + e-learning教材学習テスト(40点)合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業時に行う音読の練習を授業後にも行ってください。プレゼンテーション用の原稿やスライド(必要であれば)に関しても期日までに作成終了するようにグループ内で協力して自ら考え、取り組んでください。授業時間で終われない分は事後学習になります。また、英語環境を作るために英語で映画やドラマの鑑賞を積極的に行ってください。各自目指している英語の試験がある場合は問題集などに取り組みましょう。		
キーワード / Keywords	アクティブラーニング		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書は使用しません。Listening activityは、TEDもしくはEnglish Centralを用いて実施します。Speaking activityはこちらで用意したカードや授業内で作成する物を用いて行います。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）		
学生へのメッセージ/Message for students	これからの学習、及び社会に出た後に英語を実際に使えるように、この授業を通し英語使用のトレーニングをします。今まで学んできたリスニング力、語彙力、文法力を総合的に活用するよう試みてください。授業終了後に英語をアウトプットする事に慣れ、少しでも自信をつけてくれたら幸いです。皆さんの未来の更なる英語学習へのモチベーションが構築されるよう全員、積極的に参加してください。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	Orientation Speaking activity Group activity	B C E
第2回	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第3回	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第4回	e-learning 教材学習テスト1回目 Speaking activity Group activity	B C E
第5回	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第6回	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第7回	Presentation 1回目	B C
第8回	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第9回	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第10回	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第11回	e-learning 教材学習テスト2回目 Speaking activity Group activity	B C E
第12回	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第13回	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第14回	Presentation 2回目	B C
第15回	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第16回	定期試験	A

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013004	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2T(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T(英1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月3 水2 木4		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	まず、授業時に任意で指定したニュース教材を、必要な情報を探しながら、英文をはやく正確に読む練習を行う。授業中に読んだ教材は、細部までの詳細な読みを課題として自宅で行い、翌週確認作業を行う。医療関係の問題を扱ったプリント教材は、授業時に指定した構文や表現は、必ず身に付けてもらう。		
授業到達目標/Course goals	1) 医療関係の話題をとりあげたCD教材を聞いて、必要な情報を聞き取り、使われた重要な表現をえるようになる。 2) 様々なテーマを扱った英字新聞の英文を読んで、必要な情報を見つけ、英文の内容を理解することができる。 3) 学習して教材を利用してプレゼン用の原稿を作成し、プレゼンを行うことができる。 4) 他のスピーカーのプレゼン内容へのコメントや意見交換ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験40%、 e-learning教材学習テスト40%、 プレゼンペーパー等の提出物10%、 授業でのアクティビティ、小テスト 10% で行います。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回課せられる範囲の学習。 ほぼ毎回行われる小テストのための学習。		
キーワード / Keywords	Repeating, Pair Work, Listening Strategies, Scanning, Skimming		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書(テキスト) : 英語コミュニケーション教本(英光社) ¥1,900 Reading 関係は、プリントを使用します。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習を作りだし、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推薦しているe-learning教材（3 Step やパワーワーク）やNHKテレビやラジオの英語講座などがおすすめです
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	Reading（テキストUnit 1） Flu Season（1）
第3回	Reading（テキストUnit 2） Flu Season（1）
第4回	Reading（テキストUnit 3） Flu Season（2）
第5回	e-learning教材学習テスト第1回目 Reading（テキストUnit 4）
第6回	Reading（テキストUnit 5） Flu Season（2）
第7回	Reading（テキストUnit 6） Flu Season（3）
第8回	テキストを用いたショートプレゼン作成 Flu Season（3）
第9回	Reading（テキストUnit 7） Flu Season（4）
第10回	Reading（テキストUnit 8） Flu Season（4）
第11回	Reading（テキストUnit 9） Flu Season（5）
第12回	e-learning教材学習テスト第2回目 Reading（テキストUnit 10）
第13回	Reading（テキストUnit 11） Flu Season（5）
第14回	Reading（テキストUnit 12） テキスト教材を用いたプレゼン作成。
第15回	テキスト教材を用いたグループワーク、プレゼンテーション代表者コンテスト
第16回	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013005	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2T(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T(英2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi tea.ocn.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後(授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ビジネスの国際化があらゆる分野に浸透してきた昨今、企業によってはたとえ自分は海外に出張したり、駐在したりしなくても、外国人のクライアントが来社したり、英文メールが送られてきたりして英語でやり取りせざるを得ないという職場環境が増加傾向にあることは衆目の一致するところである。本講座は、将来そうした領域でも対応できるビジネスパーソンを目指しつつ、実践的なビジネス英語の習得を目標とするものである。		
授業到達目標/Course goals	<p>?@英語音声学の知見に基づく授業を通して、英語の音変化の特徴や法則性を理解し、現状以上に英語聴解力を向上させることができる。</p> <p>?A習得した英語の音変化の特徴や法則性を日常英会話に応用させるべく、実際に英語を使ってコミュニケーションを図る際、円滑な意思の疎通を可能とする正確な発音ができる。</p> <p>?B実用英語を習得することによって、現状以上に英語発話力を向上させることができる。</p> <p>?C英文の速読、及び直読直解ができる。</p> <p>?D日本と諸外国の市民レベルでの生活習慣や生活文化等の差異を正しく認識し、日本人とは異なる価値観や行動様式を持つ人々の存在と多様性を理解することができる。</p> <p>?E異文化理解の視座から、固定観念で物事を断定せず、常に判断の保留の気持ちと態度を持ってコミュニケーションを図ることができる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動(授業中の発表等)10%、課外学習のe-learning教材学習テスト40%(1回目20%+2回目20%)等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	速読、直読直解、ビジネス英会話、異文化理解		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業時にハンドアウト教材を配布する。		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し毎日のトレーニングを継続させることによって、実践的なビジネス英会話を含む実用英米語運用能力の促進が可能となる。従って、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。上述の通り、授業時には発表活動(積極的かつ自発的な発言等)が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加算するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) / Remarks (URL)	
学生へのメッセージ / Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケート、ビジネス英会話のための英語音声に関する基礎固め(1))
第2回	ビジネス英会話のための英語音声に関する基礎固め(2)、Unit 1: 現状を報告する(1)
第3回	Unit 1: 現状を報告する(2) / 数の英語?@ (位取りの違いに慣れる)
第4回	Unit 2: アドバイスを求める(1)
第5回	e-learning教材学習テスト(1回目)、Unit 2: アドバイスを求める(2) / チャンツ / メールライティング講座?@ (ビジネスで使うメール)
第6回	Unit 3: 手伝ってもらおう(1)
第7回	Unit 3: 手伝ってもらおう(2) / ビジネスマナー講座?@ (外国人同僚との意思疎通?T)
第8回	Unit 4: 食事に誘う(1)
第9回	Unit 4: 食事に誘う(2) / チャンツ
第10回	Unit 5: プレゼンテーションを始める(1)
第11回	Unit 5: プレゼンテーションを始める(2) / 数の英語?A (金額・電話番号の読み方はここに注意!)
第12回	e-learning教材学習テスト(2回目)、Unit 6: 本題について説明する(1)
第13回	Unit 6: 本題について説明する(2) / チャンツ / メールライティング講座?A (全体の構成を考える)
第14回	Unit 7: プレゼンテーションをまとめる(1) / ビジネスマナー講座?A (外国人同僚との意思疎通?U)
第15回	Unit 7: プレゼンテーションをまとめる(2)、まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 履修内容に関する解説や演習活動により、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013006	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2T(英3)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	工学部 <2T(英3)>		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kawashima tc.nagasaki-gaigo.ac.jp 注意:メールのマナー(ビジネスレター等)が守られている場合のみ、返信し、対応する。(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel	095-840-2000(長崎外国語大学 内線334)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後、質問を受けつける。また、話し合いにより、後日、時間を設定する場合がある。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「総合英語II」における学習成果を基に、高度なリスニング力とリーディング力を身につけるための勉強法を学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	最終的な目標は、1)リスニングに対応できる語彙力・発音力のアップ、2)口語英語のスピード・イントネーション・リズム等に対応できるリスニング力・発音力の強化、3)長い英文をリスニングのスピードで読めるようになる、の3つであるが、本授業の到達目標は、受講者がこらら3つの目標を達成するための基礎的情報を得ることである。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	基本的に、E-Learning教材学習テスト40%・課題30%・期末試験30%で総合的に評価するが、授業の進度等により課題30%・期末試験30%に関しては、割合を若干変更することがある。なお、欠席1回でマイナス7点(正当な理由がある場合は考慮する)となる等の「授業ルール」があるので注意すること。詳細は、授業で配布する資料を参照すること。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	基本的に毎回課題が出される。授業中に導入部分(部分ディクテーション等)を実際に行い、残りが課題となる。また、ネット上のニュース等を見て、新しい単語や表現等を整理し、まとめる課題も出される。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	基本的にはプリント教材を配布するが、授業中実施する英語力診断テストの結果によっては、副教材を購入する場合がある。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	課題は多いが、意欲的に取り組んで、英語の力をつけて欲しい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回	授業方針の説明・英語力診断テスト・授業関連アンケート
2回	多聴読プログラム1 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙1・センテンスディクテーション&リピーティング1・母音に関する類似音の発音
3回	多聴読プログラム2 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙2・センテンスディクテーション&リピーティング2・母音に関する類似音の識別
4回	多聴読プログラム3 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙3・センテンスディクテーション&リピーティング3・子音に関する類似音の発音
5回	e-learning教材学習テスト(1回目)多聴読プログラム4 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙4・センテンスディクテーション&リピーティング4・子音に関する類似音の識別
6回	第1回?第5回の授業の振り返り(フィードバック)・音楽と英語学習の関係についての講義・音楽教材の収集と情報交換
7回	多聴読プログラム5 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙1・センテンスディクテーション&オーバーラッピング1・音楽の中の類似音1
8回	多聴読プログラム6 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙2・センテンスディクテーション&オーバーラッピング2・音楽の中の類似音2
9回	多聴読プログラム7 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙3・センテンスディクテーション&オーバーラッピング3・音楽の中の類似音3
10回	多聴読プログラム8 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙4・センテンスディクテーション&オーバーラッピング4・音楽の中の類似音4
11回	多聴読プログラム9 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙1・教養番組のリーディング1・センテンスディクテーション&シャドーイング1・音楽の中の連続音1
12回	e-learning教材学習テスト(2回目)多聴読プログラム10 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙2・教養番組のリーディング2・センテンスディクテーション&シャドーイング2・音楽の中の連続音2
13回	多聴読プログラム11 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙3・教養番組のリーディング3・センテンスディクテーション&シャドーイング3・音楽の中の連続音3
14回	多聴読プログラム12 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙4・教養番組のリーディング4・センテンスディクテーション&シャドーイング4・音楽の中の連続音4
15回	第7回?第14回の授業の振り返り(フィードバック)・レポート作成上の留意点の確認
16回	学期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013007	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2T(英4)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山崎 香緒里 / Yamasaki Kaori		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山崎 香緒里 / Yamasaki Kaori		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山崎 香緒里 / Yamasaki Kaori		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T(英4)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kaor1.j.y.04 gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	kaor1.j.y.04 gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Eメールにより質問を受け付けます kaor1.j.y.04 gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	身近な問題について文章を読んだり、調査したりして、英語で自分の考えを発信できるようになることを目指す。リスニング、スピーキングの機会も多く取り入れ、英語運用能力を強化する。		
授業到達目標/Course goals	身の回りの問題について考えたことを、わかりやすく相手に伝えられるようになる。 論理的な理由や具体例を適切に用いて、主張することができるようになる。 自分と相手の考え方や文化の違いを理解した上で、議論することができるようになる。 簡単な単語や表現でも、その使用される場を知り、適切に使用できるように、積極的に英語に触れる習慣を身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト(40%) 授業内小テスト(10%) プレゼンテーション課題(10%) 中間テスト(20%) 期末テスト(20%) 合計100点のうち60点以上を合格とする		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回の復習として、前回の分の文章を音読する(毎回小テストを行う)。また、予習として、Unitの中にある単語問題を解いておく。		
キーワード / Keywords	学生が授業を概観できるように、授業で扱う主なトピックを抜きだします。 (授業終了後には、そのキーワードについて説明できるようになっていることが望ましい)		
教科書・教材・参考書 / Materials	Two Sides to Every Discussion (成美堂出版)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）		
学生へのメッセージ/Message for students	一緒に楽しく学びましょう！ 夏までには、英語でできることが増えているように、一緒に頑張りましょう。 遅刻、欠席に注意してください。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
43564	Unit 1: 大学は秋入学にすべきである？	B
43571	Unit 2: 高校の部活は厳しすぎる？	B
43578	Unit 4: プロスポーツにもっと外国人選手を使うべきである？	B
43592	Unit 5 者よりも経験を買うほうが得である？	B
43599	e-learning 教材学習テスト（1回目） Unit 6: 初デートは男性がお金を払うべきである？	B
43606	Unit 7: 消費税は15%に引き上げるべきである？	B
43613	中間テスト	A
43620	Unit 9: SNSは有益なメディアである？	B
43627	Unit 11: iPhoneは最高のスマートフォンである？	B
43634	Unit 12: ゲームで遊ぶのは時間の無駄である？	B
43641	Unit 13: 外国のお祭りを祝うのは良いことである？	B
43648	e-learning 教材学習テスト（2回目） Unit 14: 電車内でものを食べても構わない？	B
43655	Unit 17: 血液型で人の性格は正しく分類できる？	B
43669	Unit 18: 美容整形はいいことである？	B
43676	まとめ	A
43683	期末テスト	A

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013008	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2T(英5)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	工学部 2T(英5)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	etudiants_nagu yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 10時30分より		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	人間の資質や生き方、世界の様々な事柄に関して書かれた優れた英文を熟読し、青年期にある学生の皆さんがこれから生きていくうえで大切な知恵や人生の指針について学ぶ。教養を高め、自己を磨く一助とする。また、ここで学んだ知識を将来の生き方に役立てられるよう、身に付ける。常に自分で考え、教養を深め、研鑽に努めることが、将来優秀な工学士になれることはもとより、人として、学生の皆さんには重要かつ必要不可欠です。 英語の長文を正確に意味を理解して、読めるようになる。総合的な英語全般の能力について学び、復習し、さらには向上させる。特に、文法事項とパラグラフ・リーディングに重点を置き、英文の読解力と理解度を深める。英文を「英語で」理解できるようになる。		
授業到達目標/Course goals	人間の優れた資質や生き方について関心や知識を深め、また、それらを理解することができる。また、興味を持ち、自らの考えを持ち、説明することができる。英文の読解力を高め、意味を正確に読み取ることができる。総合的な英語力の養成をねらい、語句や文法事項の定着を図り、リーディングとリスニングの能力を伸ばすことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験 50%、e-learning教材学習テスト 40%、小テスト 10%を基準とします。 定期試験を筆記で行います。 課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。 また、受講中の活動や態度を非常に重視します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回必ず英単語を調べ、英文テキストを読み、音声教材を聴き、問題を解いて、授業に臨むこと。授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。小テスト等で確認をしますので、予習・復習を徹底しましょう。		
キーワード / Keywords	リーディング・スキルの向上 / 人間の資質 / 生き方と人生 / 世界の様々な事象 / 心と人生を豊かに / 教養を高める		
教科書・教材・参考書 / Materials	Living in a Global Community 『グローバル社会を生きる：道を拓く人々』(小林純子：朝日出版社) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。 音声教材は、 http://text.asahipress.com/free/english にて、無料配信しています。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	授業には、全回出席することを期待します。授業には、必ず予習をして臨みましょう。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んでください。あらかじめ音声教材を聴き、英単語の意味を調べ、文章の大意を掴み、テキストの問題を解いておきます。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月9日	導入・授業内容の説明
第2回 4月16日	Unit 1 The Power of Photography
第3回 4月23日	Unit 2 Disaster Recovery Coordinators
第4回 5月7日	Unit 3 Taking Risks
第5回 5月14日	【e-learning 教材学習テスト 第1回目】 Unit 4 Trying for a Comeback
第6回 5月21日	Unit 5 The Ups and Downs in the Restaurant Industry
第7回 5月28日	Unit 6 Niche Market
第8回 6月4日	Unit 7 Example without Preaching (1)
第9回 6月11日	Unit 8 Example without Preaching (2)
第10回 6月18日	Unit 10 Leading a Steady Life
第11回 6月25日	Unit 11 White Lies ?
第12回 7月2日	【e-learning 教材学習テスト 第2回目】 Unit 9 Mediators
第13回 7月9日	Unit 12 Seeking the Blue Bird of Happiness
第14回 7月23日	Unit 14 Living his Faith
第15回 7月30日	Unit 15 The Challenges of the State of Oregon
第16回 8月6日	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013009	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2F(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2F(英1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	usamikan uma.bbiq.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日2限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>今まで培ってきた一文一文を正確に読む力(精読力)を保持しつつ、ある程度まとまった量の英文を、ある程度速く読んで、ある点についての情報をできるだけ正確に抜き出す、或いは、大意を取る力(速読力)を育てる。英語文章の構成を学び、主題(main idea)や、段落の主題を述べる文(topic sentence)とそれを具体的に述べる文(supporting sentences)を意識し、段落間の関係や、全体の主題と各段落との関係、取る練習をする。また、基本的英語で自分の意見を書く、ペア或いはグループで互いにそれを伝える練習をする。1章が、700?800語、6段落?8段落、で構成されるテキストを毎回1章づつ読む。受講生の反応によっては、もう少し長い或いは難しい読み物に、プリントで挑戦する。</p> <p>現在多くの分野において、第一線の情報は、英語経由で最も早く詳しく数多く手に入る傾向にある。その現状を前提に、実践で役立つような英語の読解力の向上を目指す。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>テキスト程度の英文をある程度の速さで読み、必要な情報を探せ、ある程度的大意が取れるようになる。</p> <p>必要な場合は、正確な英文理解のために基本文法が適用でき、正確に意味が取れるようになる。文脈に応じて語彙の解釈ができるようになる。</p> <p>長い英語文章を読んで、段落間の関係や、全体の主題と各段落との関係を、理解できるようになる。</p> <p>基本的英語で、自分の考えや感想を表現できるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>課外学習のe-learning 40% (3 Step-CALL と Power Words とを内容とするe-Learning教材学習テスト2回、各30分程度)、定期試験45%、小テスト約12%、授業での提出物や積極的な授業への参加等約3%。</p> <p>課外学習の e-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords	スキミング、スキヤニング、主題(main idea)、段落の主題を述べる文(topic sentence)とそれを具体的に述べる文(supporting sentences)。		
教科書・教材・参考書/Materials	WORLD OF WONDERS: A BRAVE NEW WORLD, SEIBIDO, ¥1,900+税。 第1回目の授業の初めに教室でテキストを購入するので、代金を忘れずに。		

受講要件 (履修条件) /Prerequisites	全回出席が原則。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	毎回小テストをします。これは、好評です。予習して授業に臨むことが原則です。英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要です。英語が苦手な学生もいると思いますが、努力すれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション、 Chapter 1 Building Blocks, Building Minds: The Amazing Success of Lego
第2回	Chapter 2 Faster, Higher, Stronger: The World's Most Extreme Sports
第3回	Chapter 3 Do You Hulu?: The Future of Television
第4回	Chapter 4 A Woman's Place is Wherever She Wants: Gender Equality
第5回	第1回 e-learning教材学習テスト(30分程度) Chapter 5 The Internet of Things: This Changes Everything
第6回	Chapter 6 The Supercomputer in Your Pocket: How Cell Phones Are Changing the World
第7回	Chapter 7 Land, Sea, and Air: How Drones Are Changing our Lives
第8回	Chapter 8 Forever Young: The Quest for Eternal Youth
第9回	Chapter 9 Just Forget It!: The Science of Rewriting Memories
第10回	Chapter 10 I Am Who I Am: Sex, Sexuality, and Gender
第11回	Chapter 11 Uber, Airbnb, and TaskRabbit: Collaborative Consumption and the Sharing Economy
第12回	第2回 e-learning教材学習テスト(30分程度) Chapter 12 More Than eMoney: What Is the Blockchain?
第13回	Chapter 13 Permanently Part-Time: Is the Gig Economy the Future of Work?
第14回	Chapter 14 Driven to Succeed: The Amazing Story of Elon Musk
第15回	Chapter 15 The Clanking Masses: Will a Robot Take Your Job?
第16回	期末テスト

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013010	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2F(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2F(英2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fujiuchi tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000 (内線335)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	外語大335研究室にて随時・要確認		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業では、伝達手段としての英語の基本的な技能と、特に読解能力と聴取能力の相関関係を解説した後、読解と聴取の能力を総合的に向上させる訓練を行う。最終的には、「読んで分かる英語」から「聞いて分かる英語」へと、受講生の英語力を向上させる。		
授業到達目標/Course goals	英語のテレビ放送を聞いて内容を説明できる程度の英語運用能力の獲得を目的とする。正しくe-learningが行われ、予復習も適切である場合、CEFR A2レベルがそれ以上の習熟度に到達する予定である。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	全て主教材より 定期試験40%(単語理解6%、本文内容ディクテーション 14%(部分点あり)、内容理解15%、課題英作文 5%(部分点あり)) 平常点20%(英作文提出と副教材解答結果提出) 課外学習のe-learning 教材学習テスト40%(1回目 20% + 2回目 20%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	主教材: NHK NEWSLINE2 (金星堂) 副教材: Campus Listening(成美堂)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	教科書を購入し、発音記号が載っている英和辞典を必ず携行して授業に臨むこと。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	この講義では、DVD素材を利用して音読訓練を行います。タイムを指定して音読させるタイムアタック、テキストを後追いさせるオーバーラッピング、シャドウイングなど、学生の習熟度を診て判断します。
学生へのメッセージ/Message for students	DVDを見て、放送を一通り音読で真似てみる程度の事前訓練をしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	4/11 オリエンテーション、座席決定、教科書販売、期末試験の仕様発表、講義の心得確認
第2回	4/18 副教材 Unit 1、主教材 教科書 Unit 1、新章へ
第3回	4/25 副教材 Unit 3、主教材 教科書継続、または新章へ
第4回	5/9 副教材 Unit 4、主教材 教科書継続、または新章へ
第5回	5/16 e-learning教材学習テスト第一回目 副教材 Unit 5、主教材 教科書継続、または新章へ
第6回	5/23 副教材 Unit 6、主教材 教科書継続、または新章へ
第7回	5/30 副教材 Unit 7、主教材 教科書継続、または新章へ
第8回	6/6 副教材 Unit 8、主教材 教科書継続、または新章へ
第9回	6/13 副教材 Unit 9、主教材 教科書継続、または新章へ
第10回	6/20 副教材 Unit 11、主教材 教科書継続、または新章へ
第11回	6/27 副教材 Unit 12、主教材 教科書継続、または新章へ
第12回	7/4 e-learning教材学習テスト第二回目 副教材 Unit 13、主教材 教科書継続、または新章へ
第13回	7/11 副教材 Unit 14、主教材 教科書継続、または新章へ
第14回	7/18 副教材 Unit 21、主教材 教科書継続、または新章へ
第15回	7/25 副教材 Unit 24、主教材 教科書終了
第16回	8/1 定期試験 90分、提出物最終締め切り

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013011	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2F(英3)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2F(英3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a_yamaguchi_n-junshin.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095?846-0084		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日本でも親しまれている英米の物語を読むことによって、文法力や語彙力を増やし、英文の読解力を強化することを目標とする。またCDを聞くことでリスニング力を付け、英文のリズムをつかむ。さらに本来言語と切り離して考えることの出来ない文化的背景に触れながら生きた英語を味わっていく。本年度はシャーロック・ホームズ・シリーズの代表的な短編2編をテキストとして取り上げる。		
授業到達目標/Course goals	英語の文法力や語彙力を増やし、重要な構文を把握しながら、長文の読解力を強化することができるようにする。CDに収められている生き生きとした英語を聞くことで、リスニング力を向上させ、英文独特のリズムやイントネーションを体得できるようにする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への積極的な取り組み状況(発表とクイズ) 10% 定期試験 50%、 e-Learning教材学習テスト 40% (1回目20% + 2回目20%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回指定した範囲の和訳、問題演習を予習しておく。 授業の復習として毎回出されるクイズをやっておく。		
キーワード / Keywords	リーディング、リスニング、英文法、語彙、構文把握、		
教科書・教材・参考書 / Materials	Mystery Tour with Sherlock Holmes (センゲージ ラーニング)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	あらかじめ指定された担当者は和訳を発表すること。担当者以外の学生も毎回和訳、問題演習の予習をして授業に臨むこと		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	シャーロックホームズの短編の中でも特に人気のある物語を取り上げています。物語を読む楽しさが、きっと英語学習への動機を高めてくれるでしょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく 教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ 使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション (授業の進め方、シャーロック・ホームズ・シリーズとその英語について、Warm-Up)
第2回	Unit1: The Red-Headed League, An Easy Job リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第3回	Unit2: The Red-Headed League, Mr. Wilson Is Put to a Test リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第4回	Unit3: The Red-Headed League, Job Suddenly Ends リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第5回	e-Learning 教材学習テスト1回目 Unit4: The Red-Headed League, Holmes Gathers Information リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第6回	Unit5: The Red-Headed League, Setting the Trap リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第7回	Unit6: The Red-Headed League, Holmes Explains the Plan (1) リーディング、問題演習、リスニング
第8回	Unit6: The Red-Headed League, Holmes Explains the Plan (2) リーディング、問題演習、ディクテーション、ペアワーク
第9回	Unit7: The Adventure of the Copper Beeches, A Job with Strange Requirements リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第10回	Unit8: The Adventure of the Copper Beeches, The Work Begins リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第11回	Unit9: The Adventure of the Copper Beeches, A Strange Observer リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第12回	e-Learning 教材学習テスト2回目 Unit 10: The Adventure of the Copper Beeches, Miss Hunter Looks Around リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第13回	Unit 11: The Adventure of the Copper Beeches, Mr. Holmes Has an Idea リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第14回	Unit 12: The Adventure of the Copper Beeches, Mr. Rucastle's Terrible Fate (1) リーディング、問題演習、リスニング
第15回	Unit 12: The Adventure of the Copper Beeches, Mr. Rucastle's Terrible Fate (2) リーディング、問題演習、ディクテーション、ペアワーク
第16回	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013012	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2G1 ~ 2G3) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	谷川 晋一		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	谷川 晋一		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	谷川 晋一		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[多文化]総合教育研究棟3F 33番講義室 / SGHSS Lecture Room No.33		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2G1?2G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shintanigawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合研究棟10階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールでの申請によって対応		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	英語4技能を学術的場面において活用する基礎的な訓練を行い、IELTS及びTOEFLを中心とした検定試験や英語での講義に対応できるような総合的な英語力を養成する。実際の検定試験や英語の講義で用いられる題材を用いて、情報を正確に理解し、効果的に読み手・聞き手に伝える方策について学習を行う。そして、それらを作成や発表に応用し、自分の意見や主張を英語で発信する訓練も行う。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・検定試験や講義等の学術的場面で用いられる語彙や表現を着実に身につけ、自分自身で適切に用いることができるようになる。 ・文章構成やディスカッション、プレゼンテーションの基礎を正しく身につけ、自分自身で適切に用いることができるようになる。 ・自分自身の意見や主張を論理的にまとめ、他者に向けて正確に発信できるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト: 40% 日頃の学習状況: 40% 中間・期末課題: 20% 日頃の学習状況には、小テストのスコア、課題の提出状況、eラーニングの進捗状況、授業参加態度が含まれます。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	特定の教科書等は使用せず、プリント等の配布資料を用いる。参考書等は、講義中に提示する。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	原則として、全回出席をしなければ単位は成立しない。また、この授業では、予習・復習を前提とした出席と小テスト・課題を中心に成績評価を行う。出席したとしても、予習・復習が不十分である場合には、必然的に、点数が低くなるため、その点に留意して、積極的に授業に取り組むこと。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回: 4/11	オリエンテーション & 準備学習
第2回: 4/18	配布資料1
第3回: 4/25	配布資料2
第4回: 5/9	配布資料3
第5回: 5/16	e-learning教材学習テスト(1) & 配布資料4
第6回: 5/23	配布資料5
第7回: 5/30	配布資料6
第8回: 6/6	中間課題
第9回: 6/13	配布資料7
第10回: 6/20	配布資料8
第11回: 6/27	配布資料9
第12回: 7/4	e-learning教材学習テスト(2) & 配布資料10
第13回: 7/11	配布資料11
第14回: 7/18	配布資料12
第15回: 7/25	期末課題

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013013	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2E(英4)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部 2E(英4)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	etudiants_nagu yahoo.co.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 10時30分より		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	人間の資質や生き方、世界の様々な事柄に関して書かれた優れた英文を熟読し、青年期にある学生の皆さんがこれから生きていくうえで大切な知恵や人生の指針について学ぶ。教養を高め、自己を磨く一助とする。また、ここで学んだ知識を将来の生き方に役立てられるよう、身に付ける。常に自分で考え、教養を深め、研鑽に努めることが、将来優秀なビジネスマンになれることはもとより、人として、学生の皆さんには重要かつ必要不可欠です。 英語の長文を正確に意味を理解して、読めるようになる。総合的な英語全般の能力について学び、復習し、さらには向上させる。特に、文法事項とパラグラフ・リーディングに重点を置き、英文の読解力と理解度を深める。英文を「英語で」理解できるようになる。		
授業到達目標/Course goals	人間の優れた資質や生き方について関心や知識を深め、また、それらを理解することができる。また、興味を持ち、自らの考えを持ち、説明することができる。英文の読解力を高め、意味を正確に読み取ることができる。総合的な英語力の養成をねらい、語句や文法事項の定着を図り、リーディングとリスニングの能力を伸ばすことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験 50%、e-learning教材学習テスト 40%、小テスト 10%を基準とします。 定期試験を筆記で行います。 課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。 また、受講中の活動や態度を非常に重視します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回必ず英単語を調べ、英文テキストを読み、音声教材を聴き、問題を解いて、授業に臨むこと。授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。小テスト等で確認をしますので、予習・復習を徹底しましょう。		
キーワード / Keywords	リーディング・スキルの向上 / 人間の資質 / 生き方と人生 / 世界の様々な事象 / 文学 / 文化 / 心と人生を豊かに / 教養を高める		
教科書・教材・参考書 / Materials	15 Doors to Global Issues 『世界を読み解く15の扉』(河原真也 / 伊藤健一郎: 朝日出版社) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。 音声教材は、 http://text.asahipress.com/free/english にて、無料配信しています。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	授業には、全回出席することを期待します。授業には、必ず予習をして臨みましょう。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んでください。あらかじめ音声教材を聴き、英単語の意味を調べ、文章の大意を掴み、テキストの問題を解いておきます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月9日	導入・授業内容の説明
第2回 4月16日	Unit 1 A 20th-century hero and icon
第3回 4月23日	Unit 2 From Seaspeak to Singlish: celebrating other kinds of English
第4回 5月7日	Unit 3 There's more to the Isle of Man than motor racing and Automation
第5回 5月14日	【e-learning 教材学習テスト 第1回目】 Unit 4 Future Predictions for Artificial Intelligence and Automation
第6回 5月21日	Unit 5 Take more proactive climate action
第7回 5月28日	Unit 6 UNESCO " Japanese Food: Intangible cultural Heritage "
第8回 6月4日	Unit 7 The Origins of Bathhouse culture around the World
第9回 6月11日	Unit 8 All 155 Aboard Safe as Crippled Jet Crash-Lands in Hudson
第10回 6月18日	Unit 10 Fashion History: Dandyism
第11回 6月25日	Unit 12 Should Literature Be Useful ?
第12回 7月2日	【e-learning 教材学習テスト 第2回目】 Unit 13 Bottles and bricks still get thrown over the wall ...
第13回 7月9日	Unit 14 On Reading Old Books
第14回 7月23日	Unit 14 On Reading Old Books Unit 15 Marriage
第15回 7月30日	Unit 15 Marriage
第16回 8月6日	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013014	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2E(英5)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2E(英5)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-yamada_sun.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	k-yamada@sun.ac.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	リーディングとリスニングに重点をおきながら、英語の4技能(リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング)を総合的に向上させることをめざす。DVD付きテキストを使用しリスニング力を鍛える。また英文エッセイの内容について英問英答で理解を確認し、読解のポイントをつかむ。英文を聞き取る練習として、英英辞典を使った単語クイズも行う。テキストに基づいたディクテーション・テストをするほか、e-learning課外学習も組み入れてリスニング力・語彙力を強化する。		
授業到達目標/Course goals	1. 平易な英語で書かれていれば、社会の問題について書かれた英文でも理解できるようになる。 2. わかりやすく話された英語であれば、ビジネスや社会のことについての会話でも理解できるようになる。 3. 簡単な内容についての自分の意見を、文で相手に伝えることができるようになる。 4. 英文の質問に対する自分の意見などを、平易な英文で書けるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験(ディクテーションを含む) 30% 中間テスト(ディクテーションを含む) 15% 授業への参加度15% 課外学習のe-learning 40% (e-learning教材学習テスト1目20%+2回目20%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各回の授業の予習として、各ユニットの語彙クイズ(Key Vocabulary)をして、Reading Passageを読んでくることを課題とする。復習としては、自分の単語ノートを作っておくこととDVDのシャドウイングをしておくことを課題とする。どの程度できているかは、授業中のPop-Quizや中間テスト、定期テストで確認する。毎回の授業の最後にコメントシートを提出し、毎回の授業の振り返りを行う。		
キーワード/Keywords	Repetition is the mother of learning.		
教科書・教材・参考書/Materials	Alice Gordenker /John Rucynski 『Working in Japan』 Cengage Learning, 2015		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	予習状況や質問・応答など、授業の取り組みも評価として重要なファクターとなる。20分以上の遅刻は原則欠席評価とする。授業中の携帯操作等不真面目な態度は減点評価する。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（英英辞典の利用や、リスニング力向上のためのコツなど、英語学習全般について）
第2回	Unit 1: Sales Can Be Like Acting
第3回	Unit 2: Travel Opens Up the World
第4回	Unit 3: Love Sells Cars
第5回	Unit 4: Translating Is More Than Words e-learning教材学習テスト 1回目
第6回	Unit 5: Serve Up the Best Possible Service
第7回	中間テスト
第8回	Unit 7: Teaching Is Helping Others Perform Their Best
第9回	Unit 6: Toast Your Success!
第10回	Unit 8: Build a Happy Life!
第11回	Unit 9: Life Is Like Riding a Bicycle
第12回	Unit 10: Trade Ideas for Positive Change e-learning教材学習テスト 2回目
第13回	Unit 11: Connect Workers With Companies
第14回	Unit 12: Necessity Is the Mother of Invention
第15回	Unit 13: What's the Recipe for Success
第16回	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013015	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2E(英6)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2E(英6)クラス		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo@hotmail.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	E-mailで受け付けます。 r_otsubo@hotmail.co.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業はマツダ、シマノ、ヤンマー、トンボなど、日本の「ものづくり」企業の躍進を多角的に読み解く読解を中心とした授業です。また、読解力向上のため、合わせてTOEIC形式の文法問題にも取り組みます。		
授業到達目標/Course goals	1. テキストで扱うトピックを多角的視点から捉えることができる。 2. 社会の多様性が理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み・復習テスト20% + e-learning教材学習テスト40% (1回目20% + 2回目20%) + 定期試験40% = 合計100%のうち60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業前にテキストで扱うトピックについてインターネットや書籍を用い、テキスト内に出てくる専門用語について調べておいて下さい。また、翌週に復習テストを行うのでしっかり復習しておいて下さい。		
キーワード / Keywords	ものづくり		
教科書・教材・参考書 / Materials	Outstanding Monozukufi Companies in Japan (松柏社) ¥2,000 + 税		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業は全回、予習をして臨んで下さい。 授業料参加についてIntroductionで説明をしますので必ず1回目の授業に出席して下さい。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回目	教科書販売・Introduction
2回目	マツダ 広島から世界へ?挑戦と開発の一世紀
3回目	復習テスト ハウス食品 西洋の味を食卓に?食を通じて人とつながる
4回目	復習テスト TOTO トイレと、ともに。?快適な水まわりを想像する
5回目	e-learning教材学習テスト 1回目 シマノ もっと自然へ、もっと人へ。?自転車文化と釣り文化の創造
6回目	復習テスト マツダデザイン 車はアート?造形美と新たなるブランドの構築へ
7回目	復習テスト UCC上島珈琲 珈琲をコーヒーに?ギネス入りした缶コーヒー
8回目	復習テスト ダイフク マテハンの世界へようこそ?進化する物流ソリューション
9回目	復習テスト サクラクレパス 走れ、クレパス列車?子供たちに「彩り」をとどけて
10回目	復習テスト ヤンマー 小さなものから大きなものまで?テクノロジーで拓く豊かな未来
11回目	復習テスト 山岡孫吉の生涯 「燃料報国」への想い?小型ディーゼルエンジン開発物語
12回目	e-learning教材学習テスト 2回目 オタフクソース 一滴一滴に精根を込めて?お好み焼きを世界へ
13回目	復習テスト トンボ 文化としての「制服」?最良のユニフォームメーカーを目指して
14回目	復習テスト 日東電工 見えない場所から世界を変える?グローバルニッチトップ戦略
15回目	復習テスト モロゾフ バレンタインは神戸から?心に響く洋菓子の鐘
16回目	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013016	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2E(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2E(英1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-yamada_sun.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	k-yamada@sun.ac.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前夜		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	リーディングとリスニングに重点をおきながら、英語の4技能(リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング)を総合的に向上させることをめざす。CLIL型学習を導入して、学生が英語を通じて知識を増やし考えることに重点を置く。ペア・ワークやグループ活動を通して学生が自主的に学ぶ内容も含める。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語で書かれた現代の問題についての記事や報告が読めるようになる。 2. 英語で話された時事問題や意見などが会話レベルであれば理解できるようになる。 3. 英語で時事問題についての簡単な意見のやりとりができるようになる。 4. 英語で時事問題についての意見を簡単な文であれば書けるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験(ディクテーションを含む) 30% 中間テスト(ディクテーションを含む) 15% 授業への参加度15%。 課外学習のe-learning 40%(e-learning教材学習テスト1回目20%+2回目20%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	各回の授業の予習として、各ユニットのReadingを読んでおくことを課題とする。復習としては、自分の単語ノートを作っておくこととListeningのシャドウイングをしておくことを課題とする。どの程度できているかは、授業中のPop-Quizや中間テスト、定期テストで確認する。毎回の授業の最後にコメントシートを提出し、毎回の授業の振り返りを行う。		
キーワード / Keywords	Content, Communication, Cognition, Culture/Community		
教科書・教材・参考書 / Materials	笹島茂他著『CLIL 英語で学ぶ国際問題』三修社, 2014		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	予習状況や質問・応答など、授業の取り組みも評価として重要なファクターとなる。20分以上の遅刻は原則欠席評価とする。授業中の携帯操作等不真面目な態度は減点評価する。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（英英辞典の利用や、リスニング力向上のためのコツなど、英語学習全般について）
第2回	Unit 1: Stereotypes and Racism
第3回	Unit 2: Information and Communication
第4回	Unit 3: Culture and Fashion
第5回	Unit 4: Health e-learning教材学習テスト 1回目
第6回	Unit 5: Food
第7回	中間テスト
第8回	Unit 6: A Sound Material-Cycle Society
第9回	Unit 7: Global Warming
第10回	Unit 8: Energy
第11回	Unit 9: Ecosystems and Humans
第12回	Unit 11: International Relationships e-learning教材学習テスト 2回目
第13回	Unit 12: War and Peace
第14回	Unit 13: Human Rights
第15回	Unit 14: Global Citizenship
第16回	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013017	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2E(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山崎 祐一 / Yuichi Yamasaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山崎 祐一 / Yuichi Yamasaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山崎 祐一 / Yuichi Yamasaki		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2E(英2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yamasaki_sun.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	yamasaki_sun.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	yamasaki_sun.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	異文化理解に関する問題を数多く取り上げ、リスニングとスピーキングを中心とした英語運用能力を強化しつつ、外国語習得に必要な不可欠な目標言語圏の文化的背景を学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	コミュニケーション活動を通して、実用的、且つ斬新な英語表現を習得する。また、英語圏の文化、地理、日常生活について知見を広めていく。英語圏における行動様式を、英語圏に住む人々の意識や価値観に強く訴える性質を有するものとして観察し、その中に見ることができる英語圏と日本における文化や思想の違いについて理解する。また、日本人にとって困難な英語の発音を、日本語との比較を通して解説し、その習得を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-Learning教材学習テスト(3step CALL System, Power Words) 40% Midterms 20%, Final Exam 20%, Class Participation 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回の予習復習として、会話表現を音読し暗記する。また、英語圏文化の特徴について指定の章を読んでおく。		
キーワード / Keywords	異文化間コミュニケーション、スピーキング、リスニング、発音		
教科書・教材・参考書 / Materials	英会話の教科書(Jリサーチ出版)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	遅刻・欠席に注意してください。英語や異文化について楽しく学びましょう!		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	英語の音声システム (日本語との比較と発音練習)	B
第2回	初対面のあいさつ、自己紹介	B
第3回	別れのあいさつ・久しぶりに会う	B
第4回	お礼を言う・謝る	B
第5回	e-Learning教材学習テスト1回目、中間テスト	A
第6回	ほめる・誘う	B
第7回	お悔やみ	B
第8回	人間関係は対等・まず結論ありき	B
第9回	日本流「謙虚さ」から生じる誤解・非言語メッセージ	B
第10回	色の表現・語順はやっかいだ	B
第11回	そのカタカナ英語、通じない!	B
第12回	e-Learning教材学習テスト2回目、中間試験	B
第13回	曖昧表現・間接表現	A
第14回	謙讓表現・丁寧さを出すノウハウ	B
第15回	まとめ	B
第16回	期末試験	A

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013018	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2E(英3)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2E(英3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo@hotmail.co.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	E-mailで受け付けます。 r_otsubo@hotmail.co.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業は衣料、SNS、ファストフード、Eコマースなど、多岐にわたるビジネス分野での最新の動向やそれに伴う課題などを扱う英文記事を通して、経済や経営についての知見を広げると同時に、読解力向上のため、TOEIC形式の文法問題に取り組みます。		
授業到達目標/Course goals	1. テキストで扱うトピックを多角的視点から捉えることができるようになる。 2. 社会の多様性が理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み・復習テスト20% + e-learning教材学習テスト40%(1回目20% + 2回目20%) + 定期試験40% = 合計100%のうち60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業前にテキストで扱うトピックについてインターネットや書籍を用い、テキスト内に出てくる専門用語について調べておいて下さい。また、翌週に復習テストを行うのでしっかり復習しておいて下さい。		
キーワード / Keywords	global		
教科書・教材・参考書 / Materials	Challenges of Global Enterprises (金星堂) ¥2,100 + 税		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業は全回、予習をして臨んで下さい。 授業参加について Introduction で説明をしますので必ず1回目の授業に出席して下さい。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回目	教科書販売・Introduction
2回目	Zara's Recipe for Success: More Data, Fewer Bosses
3回目	復習テスト Airbnb's Challenge and New Direction
4回目	復習テスト Augmented Reality Ecosystem in Facebook
5回目	e-learning教材学習テスト 1回目 Adidas Brings the Fast Shoe Revolutio One Step Closer
6回目	復習テスト At Toyota, the Automation Is Human-Powered
7回目	復習テスト How Starbucks Became a Successful Worldwide Brand
8回目	復習テスト McDonald's Modern Marketing Methods
9回目	復習テスト How TED Evolves and Where It Wants to Go Next
10回目	復習テスト Why Amazon Is the World's Most Innovative Company
11回目	復習テスト Sony Comes Back from the Brink
12回目	e-learning教材学習テスト 2回目 IKEA's New Business Move for Millennials
13回目	復習テスト How Google Has Changed the World
14回目	復習テスト How Did Walmart Get Cleaner Stores and Higher Sales?
15回目	復習テスト With Disney's Move to Streaming, a New Era Begins
16回目	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/02/03		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013019	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2D1・2D2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2D1・2D2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行う。		
授業到達目標/Course goals	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト(40%), 予習チェック(20%), 定期試験(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	rapid reading, listening, e-learning materials		
教科書・教材・参考書 / Materials	プリント教材		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	廣江 顕 / 高等学校英語教員としての実務経験 / 高等学校英語教員としての実務経験を踏まえ、高等学校の現場での英語科目の授業構成、指導法等々の変遷や『学習指導要領』の解説を行なっている。 / 佐賀県立致遠館高等学校 佐賀県立唐津東高等学校
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明
第2回	Listening 1, プリント教材(1)
第3回	Listening 2, プリント教材(2)
第4回	Listening 3, プリント教材(3)
第5回	Listening 4, プリント教材(4)
第6回	e-learning教材学習テスト(1)約30分程度, プリント教材(5)
第7回	Listening 5, プリント教材(6)
第8回	DVD教材(1), プリント教材(7)
第9回	DVD教材(2), プリント教材(8)
第10回	Listening 6, プリント教材(9)
第11回	Listening 9, プリント教材(10)
第12回	Listening 10, プリント教材(11)
第13回	e-learning教材学習テスト(2)約30分程度, プリント教材(12)
第14回	Listening 11, プリント教材(13)
第15回	まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/02/03		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013020	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2T(英6)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T(英6)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sayaka.university gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	sayaka.university gmail.com		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 12:00-12:30 (メールにて事前に連絡必要)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	学生中心のアクティブラーニング型の授業です。今までインプットした単語や文法力などを存分に生かしアウトプットすることによって英語の総合力向上を目指します。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1・英語使用のトレーニングを通し、抵抗なく英語を使えるようになる。 2・音読練習を通し単語力・発音・リスニング力を向上させることができる。 3・主体性をもって他者と協働し、プレゼンテーション成功の為に自ら考え実行に移すことができるようになる。 4・e-learningを通したinputと授業中に行うoutputの練習を通しバランスよく英語の総合力向上することができる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers 様々なテーマについて英語で会話をします。瞬発的に自分の意見をまとめ発話します。		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	Speaking Practice (10点) + プレゼンテーショングループ評価 (20点) + 定期試験 (20点) + レポート提出 (10点) + e-learning教材学習テスト (40点) 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業時に行う音読の練習を授業後にも行ってください。プレゼンテーション用の原稿やスライド(必要であれば)に関しても期日までに作成終了するようにグループ内で協力して自ら考え、取り組んでください。授業時間で終われない分は事後学習になります。また、英語環境を作るために英語で映画やドラマの鑑賞を積極的に行ってください。各自目指している英語の試験がある場合は問題集などに取り組みましょう。		
キーワード / Keywords	アクティブラーニング		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書は使用しません。Listening activityは、TEDもしくはEnglish Centralを用いて実施します。Speaking activityはこちらで用意したカードや授業内で作成する物を用いて行います。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考 (URL) /Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	これからの学習、及び社会に出た後に英語を実際に使えるように、この授業を通し英語使用のトレーニングをします。今まで学んできたリスニング力、語彙力、文法力を総合的に活用するよう試みてください。授業終了後に英語をアウトプットする事に慣れ、少しでも自信をつけてくれたら幸いです。皆さんの未来の更なる英語学習へのモチベーションが構築されるよう全員、積極的に参加してください。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	Orientation Speaking activity Group activity	B C E
第2回	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第3回	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第4回	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第5回	Listening practice Speaking practice Group activity	B C E
第6回	e-learning 教材学習テスト1回目 Speaking activity Group activity	B C E
第7回	Presentation 1回目	B C
第8回	Listening practice Speaking practice Group activity	B C E
第9回	Listening practice Speaking practice Group activity	B C E
第10回	Listening activity Speaking practice Group activity	B C E
第11回	Listening activity Speaking practice Group activity	B C E
第12回	Listening activity Speaking practice Group activity	B C E
第13回	e-learning 教材学習テスト2回目 Speaking practice Group activity	B C E
第14回	Presentation 2回目	B C
第15回	Listening activity Speaking practice Group activity	B C E
第16回	定期試験	A

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/02/03		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013021	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2T(英7)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	工学部2年生(総合英語?V(2T(英7)))		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	midvinter.jk@gmail.com(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育授業担当教員控室		
担当教員TEL/Tel	midvinter.jk@gmail.com		
担当教員オフィスアワー/Office hours	12時から12時20分。できれば、10時20分?30分に教養教育棟A13教室にて。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	AP(共同通信)、The Japan Times、The Japan News等のオーセンティックなニュースソースを出典とする、技術・社会・ビジネス・環境・海外に関するニュース記事をさまざまな言語活動を通して読むことによって、主として英語リーディング能力を高める授業です。		
授業到達目標/Course goals	<p>【リーディング】 ニュース英語の構成と特徴を理解した上で、 (1) トップダウンの読解: 各パラグラフの主題文を判別し、パラグラフ構成を理解することを通して、パッセージの大意を説明できるになる。 (2) ボトムアップの読解: 文型、接続関係(この2つをひとくくりにして構造把握とまとめることもできる)、修飾関係の基本的な理解にもとづいて、複雑な構造の英文であっても要点を説明できるようになる。</p> <p>【リスニング】 (1) 各ユニットのニュースでキーワードとなる語句の予習を通して、パッセージの音声を2?3回聞けばその大意を説明できるようになる。</p> <p>【スピーキング】 (1) 各ユニットの記事トピックに関連する会話文のディクテーション、シャドーイング練習を通して、平易な英文であれば、頭の中で意味と構造を理解しながら話せるようになる。</p> <p>以上を授業到達目標とする。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験: 30% 各章の復習テスト: 30% e-Learning教材学習テスト: 40%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>【事前】Pre-Reading活動 (1) 記事に関連するトピックの英語要約文を聴き取って空所を埋める。 (2) 記事中で使われる語句の予習。</p> <p>【事後】Post-Reading活動 (1) 各ユニットの記事トピックに関連する会話文のシャドーイング。</p>
キーワード/Keywords	News English
教科書・教材・参考書/Materials	Aoi Watanabe & Takayuki Ishii, Jump into the World through News in English (2019, Sanshusha)
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	Yahoo! News、Smart News等、何でも構わないので、皆さんが普段使っているニュースアプリに最低1つは英文ニュースソース(BBC、CNN、Reuters等)を追加して、毎日最低1記事を英語で読む習慣を身につけてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回(9月30日)	(1) ニュース英語の構成と特徴 (2) ニュース英語基本単語チェック100
第2回(10月7日)	Chapter 1: Technology (1) Japan's smart speaker market heats up as Line faces off against Google and Amazon
第3回(10月21日)	Chapter 2: Technology (2) Race is on to set up Europe's electric car charging network
第4回(10月28日)	Chapter 3: Society (1) Sumo association to thank women for providing first aid on dohyo
第5回(11月11日)	Chapter 4: Society (2) Head of ruined kimono business faces the music and says sorry
第6回(11月18日)	e-learning教材学習テスト第1回 Chapter 5: Society (3) Lawmakers weigh compensation for victims of forced sterilization under Japan's defunct eugenics law
第7回(11月25日)	Chapter 6: Society (4) Top Japan court finds paying NHK broadcast fee "legal obligation"
第8回(12月2日)	Chapter 7: Business and Politics (1) Ancient Japanese capital to put up tourists in historic prison
第9回(12月9日)	Chapter 8: Business and Politics (2) Abe's proposal to boost regions through Instagram seen as shallow
第10回(12月16日)	Chapter 9: Environment (1) Companies doing their part to cut down on food waste in Japan
第11回(12月23日)	Chapter 10: Environment (2) Sea critters hitchhiked across the Pacific on tsunami debris
第12回(1月6日)	Chapter 11: Overseas (1) Nepal bans solo climbers from Everest
第13回(1月20日)	e-learning教材学習テスト第2回 Chapter 12: Overseas (2) Pope Francis prints pictures of Nagasaki atomic bomb victims in warning over "fruit of war"
第14回(1月27日)	Chapter 13: Overseas (3) Survivors marks 6 minutes of strength and silence at rally
第15回(2月10日)	Chapter 14: Overseas (4) American actress Meghan Markle to be a new kind of royal

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/02/03		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013022	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2T(英8)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	松本 知子 / Tomoko Matsumoto		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	松本 知子 / Tomoko Matsumoto		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	松本 知子 / Tomoko Matsumoto		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	工学部 (2T(英8))		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	tmatsumoto niu.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	0956-20-5532 (長崎国際大学人間社会学部国際観光学科)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	質問は、授業中、授業の前後、もしくはEメール (tmatsumoto niu.ac.jp) にて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	Course focus is to develop confidence and competence in English communication at a basic/beginner level. Listening activities and conversation pair/group work will help students to build and improve English communication skill. One-to-one instructor to student assistance will be given whenever possible.		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・ Students will be able to produce and respond to questions at a starting level. ・ Students will be able to perform tasks using English at a starting level. ・ Students will be able to communicate concepts using English at a starting level. ・ Students will be able to offer and follow instructions at a starting level. ・ Students will be able to discuss familiar topics such as people, places and events at a starting level. ・ Students will be able to communicate in English about topics that are relevant to their everyday life and future goals. <ul style="list-style-type: none"> ・ 質問をしたり、質問に答えたりすることができる。 ・ 英語を使用してのタスクを行うことができる。 ・ 英語を使用して、様々な考えを伝えることができる。 ・ 指示をだしたり、従ったりすることができる。 ・ 人、場所、出来事など身近な話題について議論することができる。 ・ 日常生活や将来の目標に関するトピックについて英語でコミュニケーションをとることができる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	成績評価は、Review Test (40%)、授業時に出される宿題を含む課題の成績 (30%)、授業での質疑応答や会話練習などにおける積極的な取り組み (30%) を60%換算し、e-learning教材学習テスト (40%) を加えて行います。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	Students are expected to pre-read chapters before class and to follow-up review after each lesson. Students are also expected to complete homework on time and to study for all quizzes/tests outside of class. Students may request additional assistance if needed from the instructors.		

キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：ENGLISH FIRSTHAND SUCCESS (Fifth Edition) ISBN: 9789813132764 参考書：Any Japanese-English dictionary will suffice
受講要件（履修条件）/Prerequisites	授業前には、重要単語や語句の意味の確認を辞書を用いて行い、授業後には、音読練習をしておい てください。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	・遅刻、欠席、途中退室などをせず、積極的に授業に参加することを期待します。 ・授業前には、重要単語や語句の意味の確認を予習として行い、授業後には、音読練習をしてください。 ・辞書（電子辞書可）を持参の上、授業に臨んでください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Welcome, Unit 1 Introductions, explanation of syllabus, registration, Vocabulary, Listening & Conversation
第2回	Unit 1 Group work, Grammar & Communication
第3回	Unit 2 Vocabulary, Listening & Conversation
第4回	Unit 2 Group work, Grammar & Communication
第5回	Unit 1 & 2 Review Units 1, 2 review, Review activities
第6回	e-learning教材学習テスト1回目 Unit 3 Vocabulary, Listening & Conversation
第7回	Unit 3 Group work, Grammar & Communication
第8回	Unit 4 Vocabulary, Listening & Conversation
第9回	Unit 4 Group work, Grammar & Communication
第10回	Unit 3 & 4 Review Units 3, 4 review, Review activities
第11回	Unit 5 Vocabulary, Listening & Conversation
第12回	Unit 5 Group work, Grammar & Communication
第13回	e-learning教材学習テスト2回目 Unit 6 Vocabulary, Listening & Conversation
第14回	Unit 6 Group work, Grammar & Communication
第15回	Unit 5 & 6 Review Units 5, 6 review, Review activities

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/02/03		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013023	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2T(英9)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call12)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	工学2T(英9)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	etsukolawn hotmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、またはメールにて質問を受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>本授業では、大学や社会で必要とされる英語の基礎能力の習得を目指します。英語は、世界とつながるための有効なツールです。今後、英語を使えるようになると、あなたの世界はグローバル単位で大きく広がりますし、職業上でも様々なチャンスを得られる機会が増えることでしょう。本授業では、皆さんになかなか機会のない英語の「話す」「書く」のアウトプットの能力の向上を目指す活動に慣れ親しんでもらい、これまでの「知識としての英語」から実際に「使える」コミュニケーション能力を1つでも多く身につけてもらうことを目指します。</p> <p>授業では、上記の目標を達成するために必要な表現・スキルの説明と演習をします。さらに授業内容を定着するために、ほぼ毎レッスン小テストを行います。テキストをベースに基礎的なコミュニケーションに役に立つような表現を学習していきます。また、新しい語彙、表現力を増やすためにネイティブスピーカーの生活圏にある素材を用いた教材、洋画(DVD視聴)を使用し、Readers' theater(朗読劇)などの活動を通して日本人学習者の苦手なイントネーション、単語のつなぎ方、間の取り方などの改善を図り、ペアワーク、グループワークをより多く取り入れて授業を進めていきます。英語圏の文化、習慣の違いにも触れていきます。</p> <p>1回の授業は、以下の流れで進めていきます。</p> <p>(1) LACSによる小テスト</p> <p>(2) テキストを使用した演習(グループワーク、Readers' theater等の学習を含む)</p> <p>(3) 3分間英語で(フリーorトピック)トーク 録音 ディクテーション&自己評価</p> <p>(4) 洋画視聴(5分程度)</p> <p>提出されたグループワーク等は、添削評価して返却します。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>(1) 異文化について書かれたトピックの英文を要約できるようになる。</p> <p>(2) 与えられた写真(あるいは絵)を見て的確に英語で表現することができるようになる。</p> <p>(3) やや簡易な会話を聞いて要約できるようになる。</p> <p>(4) その会話の和訳を英訳できるようになる。</p> <p>(5) 与えられたトピックについて3分間会話を続けることができるようになる。</p> <p>(6) 洋画を英語音声、英語字幕で視聴し、内容をある程度理解することができるようになる。</p> <p>(7) 洋画のある映像の発音、イントネーション、間等を練習しネイティブにより近い発音で音読できるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験20%、授業中への取り組み、小テスト、グループワーク、Readers' theater 40%、課外学習のe-learning(e-Learning教材学習テスト2回40% (3 Step Call System, Power Words))を総合的に判断します。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各自テキスト付属のOnline Self-study等を使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。
キーワード/Keywords	リピーティング、ディクテーション、音読
教科書・教材・参考書/Materials	教科書としてJack C. Richards・David Bohlke 著『Four Corners 3 Student's Book B with Online Self-study』Cambridge University Press - ISBN:978-1-108-55982-9を使用します。 *第1回目の授業までに、必ず生協の販売コーナーで各自購入して下さい。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	教科書、配布物を毎回持参、また毎回授業に出席すること(時間厳守)。 学習する内容は、きちんと予習、復習すること!
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	英語が話せる(使える)と世界(チャンス)が広がります。今できることをどんどんトライして下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 9月30日	第1回のオリエンテーションの授業では、授業で扱う内容や学習方法、授業の進め方、評価方法などを説明します。また、Self-introduction、DVDを視聴する予定です(2回目以降も継続的に視聴)。授業は、演習形式で行います。授業では、眠ったボキャブラリー&表現を「使える」英語へと変えるために、受講生には、ペアワーク、グループワークを通して出来る限りアウトプット能力を高めるためにスピーキング&ライティングなどの機会を設けます。特に、スピーキングの明瞭さを向上させるために、DVDの視聴、補助教材も適宜使用しReaders' theater(朗読劇)などの活動を通して、イントネーション、間の取り方などに焦点をあてて練習していきます。また、スピーキングの弱点を克服するために、学習した表現が適切に使われているか等確認しながら練習していきます。会話の練習を何度も繰り返すことにより、日本語と英語の発想の違いなどを体感してほしいと思います。テキスト付属のOnline Self-studyを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。また、本授業では、e-learning教材を課外学習として取り組んでもらいます(評価40%)。*(G/W) Group workの省略
第2回 10月7日	テキスト Relationships
第3回 10月21日	Relationships* (G/W)
第4回 10月28日	Relationships
第5回 11月11日	Relationships, e-learning 復習他
第6回 11月18日	1回目e-learning教材学習テスト, テキスト Personality
第7回 11月25日	Readers' theater ?@ (G/W)
第8回 12月2日	Personality
第9回 12月9日	Personality
第10回 12月16日	Personality & テキスト On Vacation
第11回 12月23日	On Vacation (G/W) / Readers' theater ?A
第12回 1月6日	On Vacation, e-learning 復習他
第13回 1月20日	2回目e-learning教材学習テスト, On Vacation
第14回 1月27日	On Vacation, Review
第15回 2月3日	Review
第16回 2月10日	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/02/03		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013024	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2T(英10)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T(英10)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo@hotmail.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	E-mailで受け付けます。 r_otsubo@hotmail.co.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業は科学・技術系の問題に焦点を当てた英文記事を読み、実際に起こった、または起こっている事例、新しい潮流への認識を深める、読解を中心とした授業です。読解力向上のため、TOEIC形式の文法問題にも取り組みます。		
授業到達目標/Course goals	1. グローバルの視点から多様性を理解する態度・志向性を身につけることができるようになる。 2. 論理的・批判的に物事を考えること能力を身につけることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み・復習テスト20% + e-learning教材学習テスト40% (1回目20% + 2回目20%) + 定期試験40% = 合計100%のうち60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業前にテキストで扱うトピックについてインターネットや書籍を用い、テキスト内に出てくる専門用語について調べておいて下さい。また、翌週に復習テストを行うのでしっかり復習しておいて下さい。		
キーワード / Keywords	科学・技術		
教科書・教材・参考書 / Materials	Reading Quest ?科学技術の多様な側面を考える (三修社) ¥1,700 + 税		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業は全回、予習をして臨んで下さい。 授業参加について Introduction で説明しますので必ず1回目の授業に出席して下さい。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回目	教科書販売・Introduction
2回目	Tylenol Scare
3回目	復習テスト Apple's Intentional iPhone Throttling
4回目	復習テスト STEAM Education: Science and Art Unite!
5回目	復習テスト Reaping the Rewards of Innovation
6回目	e-learning教材学習テスト 1回目 Rare Earth Minerals 5,000 Meters Below
7回目	復習テスト Are Driverless Vehicles in Our Future?
8回目	復習テスト Funding the Future
9回目	復習テスト The Bhopal Disaster: A Perfect Storm
10回目	復習テスト What's Happening to Japanese Manufacturers?
11回目	復習テスト A Healthy Reason for Dog Ownership
12回目	復習テスト Science Communication
13回目	e-learning教材学習テスト 2回目 The Oceans Face a New Threat
14回目	復習テスト Universal Design
15回目	復習テスト Resistance is Futile: AI and Robots
16回目	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013025	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2M(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医学2年(2M1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	furumura_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパス 共用校舎2 一階(総合体育館裏)		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、または個別相談は事前にメールで時間を約束してから研究室へ来てください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	TED Talksのスピーチから様々なアイデアを受取り、英語やプレゼンテーションのスキルを学ぶ。生きたスピーチから刺激を受け、自らの考え方をみつめてより広げる力、世界を深く理解する力、自らの考えを発信する力を高める。		
授業到達目標/Course goals	1. 英語コミュニケーション力を高め、プレゼンテーションの手法を学ぶ。 2. 英語を「聞く・読む・書く・話す」技能を高める。 3. Communication, Collaboration, Creativity, Critical thinkingそれぞれのスキルを養う。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	6回欠席した場合、期末テストは受験できない。 1. Online HW 3回 9% (3%×3: 90%以上正解で3、60%-89%正解で2、59%以下は0点なのでやり直しをしてください) 2. Presentation 6% 3. 定期テスト 30% 4. e-learning教材学習テスト(1回目20%, 2回目20%) 5. 授業中の作業、参加態度 15%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	予習・復習・宿題を必ず行うこと。		
キーワード / Keywords	Presentation, TED Talks, English Communication, Critical Thinking		
教科書・教材・参考書 / Materials	Helen Stephenson, Lewis Lansford他 (2017), TED TALKS Keynote 4B combo split, CENGAGE Learning		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	欠席はマイナス3点、遅刻はマイナス1点、6回以上欠席(公欠を除く)場合は単位修得できません。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
11	授業のガイダンス、DVDを観る、MyELTの登録：この日までに必ずテキストを購入しておくこと。
3.25	Unit 7. Medical Frontiers
3.66666667	Unit 7. Medical Frontiers
4.344827586	Unit 7. Medical Frontiers / Deadline for MyELT online assignments: 10/28 for Unit. 7
7.2	Unit 8. Life Decisions
6.91666667	Unit 8. Life Decisions / Deadline for MyELT online assignments: 11/11 for Unit.8
7.578947368	Unit 8. Life Decisions e-learning教材学習テストNo.1:3-step (College Life U.1?U.2)医学医療英単語1-159
8.423076923	Unit 9. Technology and Innovation
13	Unit 9. Technology and Innovation
11.2	Unit 9. Technology and Innovation / Deadline for MyELT online assignments: 12/9 for Unit.9
11.70588235	Presentation テキストp.125参照
12.14285714	Presentation
13.07142857	Unit 10. Connections
14.04761905	Unit 10. Connections e-learning教材学習テストNo.2:3-step (College Life U.3?U.4)医学医療英単語160-318
15.03571429	Unit 10. Connections
16.5	期末試験(テキストで使用されたVocabulary、各unitと同じテーマに関する文章についての読解力を問う問題、Dictation:各unitのReading文対象)

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013026	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2M(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医学部(2M(英2))		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kawashima tc.nagasaki-gaigo.ac.jp 注意:メールのマナー(ビジネスレター等)が守られている場合のみ、返信し、対応する。(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel	095-840-2000(長崎外国語大学 内線334)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後、質問を受けつける。また、話し合いにより、後日、時間を設定する場合がある。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「総合英語II」における学習成果を基に、高度なリスニング力とリーディング力を身につけるための勉強法を学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	最終的な目標は、1)リスニングに対応できる語彙力・発音力のアップ、2)口語英語のスピード・イントネーション・リズム等に対応できるリスニング力・発音力の強化、3)長い英文をリスニングのスピードで読めるようになる、の3つであるが、本授業の到達目標は、受講者がこらら3つの目標を達成するための基礎的情報を得ることである。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	基本的に、E-Learning教材学習テスト40%・課題30%・期末試験30%で総合的に評価するが、授業の進度等により課題30%・期末試験30%に関しては、割合を若干変更することがある。なお、欠席1回でマイナス7点(正当な理由がある場合は考慮する)となる等の「授業ルール」があるので注意すること。詳細は、授業で配布する資料を参照すること。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	基本的に毎回課題が出される。授業中に導入部分(部分ディクテーション等)を実際に行い、残りが課題となる。また、ネット上のニュース等を見て、新しい単語や表現等を整理し、まとめる課題も出される。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	基本的にはプリント教材を配布するが、授業中実施する英語力診断テストの結果によっては、副教材を購入する場合がある。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	課題は多いが、意欲的に取り組んで、英語の力をつけて欲しい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回	授業方針の説明・英語力診断テスト・授業関連アンケート
2回	多聴読プログラム1 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙1・センテンスディクテーション&リピーティング1・母音に関する類似音の発音
3回	多聴読プログラム2 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙2・センテンスディクテーション&リピーティング2・母音に関する類似音の識別
4回	多聴読プログラム3 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙3・センテンスディクテーション&リピーティング3・子音に関する類似音の発音
5回	多聴読プログラム4 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙4・センテンスディクテーション&リピーティング4・子音に関する類似音の識別
6回	第1回?第5回の授業の振り返り(フィードバック)・音楽と英語学習の関係についての講義・音楽教材の収集と情報交換
7回	e-learning教材学習テスト(1回目) 聴読プログラム5 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙1・センテンスディクテーション&オーバーラッピング1・音楽の中の類似音1
8回	多聴読プログラム6 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙2・センテンスディクテーション&オーバーラッピング2・音楽の中の類似音2
9回	多聴読プログラム7 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙3・センテンスディクテーション&オーバーラッピング3・音楽の中の類似音3
10回	多聴読プログラム8 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙4・センテンスディクテーション&オーバーラッピング4・音楽の中の類似音4
11回	多聴読プログラム9 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙1・教養番組のリーディング1・センテンスディクテーション&シャドーイング1・音楽の中の連続音1
12回	多聴読プログラム10 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙2・教養番組のリーディング2・センテンスディクテーション&シャドーイング2・音楽の中の連続音2
13回	多聴読プログラム11 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙3・教養番組のリーディング3・センテンスディクテーション&シャドーイング3・音楽の中の連続音3
14回	e-learning教材学習テスト(2回目) 聴読プログラム12 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙4・教養番組のリーディング4・センテンスディクテーション&シャドーイング4・音楽の中の連続音4
15回	第7回?第14回の授業の振り返り(フィードバック)・レポート作成上の留意点の確認
16回	学期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013027	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2M(英3)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	奥田 阿子 / Ako Okuda		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2M(英3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-okuda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	言語教育研究センター(教養教育講義棟B棟 1F)		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 2限目		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ニュースを通して、時事ネタを英語で学ぶ。オーセンティックな教材を使用してリスニング、リーディング指導を行う。また、興味のあるニュースについて調べ、理解し、他者と意見交換を行う。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なニュースであれば、概要を理解できるようになる。 ・自分が興味のあるニューストピックを見つけ、調べ、英語で概要をまとめられるようになる。 ・自分の意見を簡潔に英語で伝えられるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト(2回) : 40% 授業中の取り組み、発表評価 : 25% 小テスト : 15% 期末テスト : 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	指定するUnitまで予習をしてくること。また、必要に応じてビデオ教材を視聴し、課題を提出すること。		
キーワード / Keywords	ニュース、CNN、BBC		
教科書・教材・参考書 / Materials	CNNショートニュースを用いたリスニング・リーディング		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	オリエンテーション アンケートへの回答 グループ分け	F
第2回	Unit 1、Unit 2 新聞記事の構成 グループ内でのディスカッション	A B
第3回	Unit 3、Unit 4 Short newsの構成 グループ内でのディスカッション	A B
第4回	Unit 5、Unit 6 Head lineの書き方 グループ内でのディスカッション	A B
第5回	Unit 7 気づきとは何かを理解する グループ内でのディスカッション	A B
第6回	Unit 8、Unit 9 アクセントとイントネーションについて理解する グループ内でのディスカッション	A B
第7回	e-learning教材学習テスト(1回目) グループで興味のあるニュースを選び、関連記事を探す、調べる。 関連記事について自分達の意見をまとめる。	A B
第8回	プレゼンテーションに使用するフレーズを学ぶ 関連記事について自分達の意見をまとめる。	A B
第9回	プレゼンテーション	A B
第10回	UNIT 10、UNIT 11 前回のフィードバック グループ内でのディスカッション	B
第11回	Unit 12、Unit 13 関連記事を読む グループ内でのディスカッション	D
第12回	Unit 14、Unit 15 関連記事を読む グループ内でのディスカッション	D
第13回	グループで興味のあるニュースを選び、関連記事について自分達の意 見をまとめる。	D
第14回	e-learning教材学習テスト(2回目) グループで興味のあるニュースを選び、関連記事について自分達の意 見をまとめる。	B
第15回	プレゼンテーション	A C

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013028	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2M4) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2M4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hamasaki wesleyan.ac.jp 欠席報告はメールではなく、後日届けを提出してください。(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	単位に関するお問い合わせ、異議申し立ては、事務を通して行ってください。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師室在中可 詳細は授業にてお知らせいたします。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	リーディングを中心に必要な構文をより多く学ぶ機会を増やし、日本語訳、英語訳の対応力をつけていきます。また、意識の方法を学びながら、判断力、応用力をつけていきます。		
授業到達目標/Course goals	日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようになります。同時に、英語力だけではなく教科書の内容から得ることができる情報も、知識人として必要なものになります。また、先に来る情報収集の際に必要な論文の読み方もしっかりとした目標にすえていきます。 また、長崎大学があげる全学共通の6つのディプロマポリシーを段階的に習得できるよう、そして3年次専門教育の学びにスムーズに移行できるようスキルアップを目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	Class Participation: 15% (講義中の睡眠、携帯の操作等はマイナス態度) 課外学習のe-learning 40% (e-learning 教材学習テスト 1回目20%、2回目20%) Final Examination 45%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習: 次の講義で進めるUnit内の単語やフレーズの確認、内容理解への挑戦 事後学習: 講義で学んだ新情報の復習、事前学習で理解できていなかった内容の確認 事前学習は自分が持っているスキルや知識の確認です。「知っていること」、「知らないこと」を仕分けしておき、講義で「知らないこと」を理解できるように準備すること。講義時間を有意義なものにするための準備が事前学習です。		
キーワード/Keywords	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、読解力、先生離れへの助長		
教科書・教材・参考書/Materials	Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan 英光社 各自持っている参考書、辞書(英和、和英)		

受講要件 (履修条件) /Prerequisites	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為は大人のモラルをもって自重してください。(スマートフォンの操作等) 無断欠席回数が1/3以上でClass Participationを0%と致します。 欠席報告(公欠)は後日、欠席届けを提出してください。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	e-learningテスト詳細は担当教員により授業時に説明が行われます。また、掲示にもよく注意しておいてください。再履修を申し出る学生は、必ず1回目の講義を受講して下さい。授業の注意点や、e-learningに関する情報など、単位に関わる大切な情報をお伝えする重要な講義になっております。 授業開始2回目以降に再履修を申し出る学生は、1回目の講義を受けなかった理由を明確にお伝えください。理由によっては、再履修受け入れを拒否させていただく場合があります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 10月1日	Introduction 学期の授業進行、教科書、e-learning教材学習の解説、その他注意事項、教科書販売
第2回 8日	Unit 1 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (1)
第3回 15日	Unit 2 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (2)
第4回 29日	Unit 3 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (1)
第5回 11月5日	Unit 4 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (2)
第6回 12日	Unit 5 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1)
第7回 19日	Unit 6 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2) e-learning 教材学習テスト 1回目
第8回 26日	Unit 7 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3)
第9回 12月3日	Unit 8 Fat The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4)
第10回 10日	Unit 9 The Introduction of Western-Style Chemistry and Pharmacy
第11回 17日	Unit 10 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (1)
第12回 1月7日	Unit 11 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (2)
第13回 14日	Unit 12 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan
第14回 21日	Unit 13 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan:Steam Factory Nagasaki 1856 e-learning 教材学習テスト 2回目
第15回 28日	Unit 14 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan:Growth 1861-1865 学期の振り返りと学期末試験に関する質疑応答
第16回 2月4日	Final Examination

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013029	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2M5) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医学部 (2M5)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kawashima tc.nagasaki-gaigo.ac.jp 注意:メールのマナー(ビジネスレター等)が守られている場合のみ、返信し、対応する。(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel	095-840-2000(長崎外国語大学 内線334)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後、質問を受けつける。また、話し合いにより、後日、時間を設定する場合がある。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「総合英語II」における学習成果を基に、高度なリスニング力とリーディング力を身につけるための勉強法を学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	最終的な目標は、1)リスニングに対応できる語彙力・発音力のアップ、2)口語英語のスピード・イントネーション・リズム等に対応できるリスニング力・発音力の強化、3)長い英文をリスニングのスピードで読めるようになる、の3つであるが、本授業の到達目標は、受講者がこらら3つの目標を達成するための基礎的情報を得ることである。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	基本的に、E-Learning教材学習テスト40%・課題30%・期末試験30%で総合的に評価するが、授業の進度等により課題30%・期末試験30%に関しては、割合を若干変更することがある。なお、欠席1回でマイナス7点(正当な理由がある場合は考慮する)となる等の「授業ルール」があるので注意すること。詳細は、授業で配布する資料を参照すること。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	基本的に毎回課題が出される。授業中に導入部分(部分ディクテーション等)を実際に行い、残りが課題となる。また、ネット上のニュース等を見て、新しい単語や表現等を整理し、まとめる課題も出される。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	基本的にはプリント教材を配布するが、授業中実施する英語力診断テストの結果によっては、副教材を購入する場合がある。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	課題は多いが、意欲的に取り組んで、英語の力をつけて欲しい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回	授業方針の説明・英語力診断テスト・授業関連アンケート
2回	多聴読プログラム1 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙1・センテンスディクテーション&リピーティング1・母音に関する類似音の発音
3回	多聴読プログラム2 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙2・センテンスディクテーション&リピーティング2・母音に関する類似音の識別
4回	多聴読プログラム3 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙3・センテンスディクテーション&リピーティング3・子音に関する類似音の発音
5回	多聴読プログラム4 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙4・センテンスディクテーション&リピーティング4・子音に関する類似音の識別
6回	第1回?第5回の授業の振り返り(フィードバック)・音楽と英語学習の関係についての講義・音楽教材の収集と情報交換
7回	e-learning教材学習テスト(1回目) 聴読プログラム5 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙1・センテンスディクテーション&オーバーラッピング1・音楽の中の類似音1
8回	多聴読プログラム6 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙2・センテンスディクテーション&オーバーラッピング2・音楽の中の類似音2
9回	多聴読プログラム7 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙3・センテンスディクテーション&オーバーラッピング3・音楽の中の類似音3
10回	多聴読プログラム8 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙4・センテンスディクテーション&オーバーラッピング4・音楽の中の類似音4
11回	多聴読プログラム9 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙1・教養番組のリーディング1・センテンスディクテーション&シャドーイング1・音楽の中の連続音1
12回	多聴読プログラム10 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙2・教養番組のリーディング2・センテンスディクテーション&シャドーイング2・音楽の中の連続音2
13回	多聴読プログラム11 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙3・教養番組のリーディング3・センテンスディクテーション&シャドーイング3・音楽の中の連続音3
14回	e-learning教材学習テスト(2回目) 聴読プログラム12 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙4・教養番組のリーディング4・センテンスディクテーション&シャドーイング4・音楽の中の連続音4
15回	第7回?第14回の授業の振り返り(フィードバック)・レポート作成上の留意点の確認
16回	学期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013030	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2M6) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山崎 香緒里 / Yamasaki Kaori		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山崎 香緒里 / Yamasaki Kaori		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山崎 香緒里 / Yamasaki Kaori		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2M6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kaor1.j.y.04 gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	kaor1.j.y.04 gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Eメールにより質問を受け付けます kaor1.j.y.04 gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日常的に英語でよく使用される表現を学び、自分のことばとして身に着ける。リスニング、スピーキングの機会も多く取り入れ、英語運用能力を強化する。		
授業到達目標/Course goals	外国に行ったり、外国の人と出会ったとき、落ち着いて言いたいことが表現できるようになる。簡単な単語や表現でも、その使用される場を知り、適切に使用できるように、積極的に英語に触れる習慣を身に着ける。 それぞれの言語での表現方法の多様性を理解することができるようになる。 自分と相手の考え方や文化の違いを理解した上で、議論することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト(40%) 授業内小テスト(10%) 授業内課題(10%) 中間テスト(20%) 期末テスト(20%) 合計100点のうち60点以上を合格とする		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回の復習として、前回の分の会話文を音読し暗記する(毎回小テストを行う)。また、同じような場面で使えそうな表現を自分で集め、覚える。		
キーワード / Keywords	学生が授業を概観できるように、授業で扱う主なトピックを抜きだします。 (授業終了後には、そのキーワードについて説明できるようになっていることが望ましい)		
教科書・教材・参考書 / Materials	Viva! San Francisco (マクミラン・ランゲージハウス)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）		
学生へのメッセージ/Message for students	一緒に楽しく学びましょう！ 会話表現や発音について学ぶので、積極的に参加してください！ 遅刻、欠席に注意してください。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
43739	Chapter 13: Self introduction	B
43746	Chapter1: Getting information	B
43753	Chapter2: Checking in at a hotel	B
43767	Chapter 3: Asking for directions	B
43774	Chapter 4: Renting a car	B
43781	Chapter 5: Ordering a meal	B
43788	e-learning 教材学習テスト（1回目） 中間テスト	B
43795	Chapter 6: Shopping for clothes	A
43802	Chapter 7: Asking for a favor	B
43809	Chapter 8: Meeting a friend	B
43816	Chapter 9: Checking out of a hotel	B
43472	Chapter 10: Expressing preference	B
43479	Chapter 19: I Have a Sore Throat	B
43486	e-learning 教材学習テスト（2回目） Chapter 20: Saying good-bye	B
43493	まとめ	A
43500	期末テスト	A

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/23		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013031	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2P1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	奥田 阿子 / Ako Okuda		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2P1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-okuda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	言語教育研究センター (教養教育講義棟B棟 1F)		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日 3 限目		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ニュースを通して、時事ネタを英語で学ぶ。オーセンティックな教材を使用してリスニング、リーディング指導を行う。また、興味のあるニュースについて調べ、理解し、他者と意見交換を行う。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なニュースであれば、概要を理解できるようになる。 ・自分が興味のあるニューストピックを見つけ、調べ、英語で概要をまとめられるようになる。 ・自分の意見を簡潔に英語で伝えられるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト (2回) : 40 % 授業中の取り組み、発表評価 : 25 % 小テスト : 15 % 期末テスト : 20 %		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	指定するUnitまで予習をしてくること。また、必要に応じてビデオ教材を視聴し、課題を提出すること。		
キーワード / Keywords	ニュース、CNN、BBC		
教科書・教材・参考書 / Materials	CNNショートニュースを用いたリスニング・リーディング		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	オリエンテーション アンケートへの回答 グループ分け	F
第2回	Unit 1、Unit 2 新聞記事の構成 グループ内でのディスカッション	A B
第3回	Unit 3、Unit 4 Short newsの構成 グループ内でのディスカッション	A B
第4回	Unit 5、Unit 6 Head lineの書き方 グループ内でのディスカッション	A B
第5回	Unit 7 気づきとは何かを理解する グループ内でのディスカッション	A B
第6回	Unit 8、Unit 9 アクセントとイントネーションについて理解する グループ内でのディスカッション	A B
第7回	グループで興味のあるニュースを選び、関連記事を探す、調べる。 関連記事について自分達の意見をまとめる。	A B
第8回	e-learning教材学習テスト(1回目) プレゼンテーションに使用するフレーズを学ぶ 関連記事について自分達の意見をまとめる。	A B
第9回	プレゼンテーション	A B
第10回	UNIT 10、UNIT 11 前回のフィードバック グループ内でのディスカッション	B
第11回	Unit 12、Unit 13 関連記事を読む グループ内でのディスカッション	D
第12回	Unit 14、Unit 15 関連記事を読む グループ内でのディスカッション	D
第13回	グループで興味のあるニュースを選び、関連記事について自分達の意 見をまとめる。	D
第14回	グループで興味のあるニュースを選び、関連記事について自分達の意 見をまとめる。	B
第15回	e-learning教材学習テスト(2回目) プレゼンテーション	A C

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/23		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013032	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2P2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2P2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a_yamaguchi_n-junshin.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	0957846-0084		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日本でも親しまれている英米の物語を読むことによって、文法力や語彙力を増やし、英文の読解力を強化することを目標とする。またCDを聞くことでリスニング力を付け、英文のリズムをつかむ。さらに本来言語と切り離して考えることの出来ない文化的背景に触れながら生きた英語を味わっていく。本年度はシャーロック・ホームズ・シリーズの代表的な短編2編をテキストとして取り上げる。		
授業到達目標/Course goals	英語の文法力や語彙力を増やし、重要な構文を把握しながら、長文の読解力を強化することができるようにする。CDに収められている生き生きとした英語を聞くことで、リスニング力を向上させ、英文独特のリズムやイントネーションを体得できるようにする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への積極的な取り組み状況(発表とクイズ) 10% 定期試験 50%、 e-learning教材学習テスト 40% (1回目20% + 2回目20%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回指定した範囲の和訳、問題演習を予習しておく。 授業の復習として毎回出されるクイズをやっておく。		
キーワード / Keywords	リーディング、リスニング、英文法、語彙、構文把握、		
教科書・教材・参考書 / Materials	Mystery Tour with Sherlock Holmes (センゲージ ラーニング)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	あらかじめ指定された担当者は和訳を発表すること。担当者以外の学生も毎回和訳、問題演習の予習をして授業に臨むこと		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	シャーロックホームズの短編の中でも特に人気のある物語を取り上げています。物語を読む楽しさが、きっと英語学習への動機を高めてくれるでしょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション (授業の進め方、シャーロック・ホームズ・シリーズとその英語について、 Warm-Up)
第2回	Unit1: The Red-Headed League, An Easy Job リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第3回	Unit2: The Red-Headed League, Mr. Wilson Is Put to a Test リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第4回	Unit3: The Red-Headed League, Job Suddenly Ends リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第5回	Unit4: The Red-Headed League, Holmes Gathers Information リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第6回	Unit5: The Red-Headed League, Setting the Trap リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第7回	Unit6: The Red-Headed League, Holmes Explains the Plan (1) リーディング、問題演習、リスニング
第8回	e-learning 教材学習テスト1回目 Unit6: The Red-Headed League, Holmes Explains the Plan (2) リーディング、問題演習、ディクテーション、ペアワーク
第9回	Unit7: The Adventure of the Copper Beeches, A Job with Strange Requirements リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第10回	Unit8: The Adventure of the Copper Beeches, The Work Begins リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第11回	Unit9: The Adventure of the Copper Beeches, A Strange Observer リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第12回	Unit 10: The Adventure of the Copper Beeches, Miss Hunter Looks Around リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第13回	Unit 11: The Adventure of the Copper Beeches, Mr. Holmes Has an Idea リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第14回	Unit 12: The Adventure of the Copper Beeches, Mr. Rucastle's Terrible Fate (1) リーディング、問題演習、リスニング
第15回	e-learning 教材学習テスト2回目 Unit 12: The Adventure of the Copper Beeches, Mr. Rucastle's Terrible Fate (2) リーディング、問題演習、ディクテーション、ペアワーク
第16回	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/23		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013033	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2L(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	奥田 阿子 / Ako Okuda		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2L(英1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-okuda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	言語教育研究センター(教養教育講義棟B棟 1F)		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日 4 限目		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ニュースを通して、時事ネタを英語で学ぶ。オーセンティックな教材を使用してリスニング、リーディング指導を行う。また、興味のあるニュースについて調べ、理解し、他者と意見交換を行う。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なニュースであれば、概要を理解できるようになる。 ・自分が興味のあるニューストピックを見つけ、調べ、英語で概要をまとめられるようになる。 ・自分の意見を簡潔に英語で伝えられるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト(2回): 40% 授業中の取り組み、発表評価: 25% 小テスト: 15% 期末テスト: 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	指定するUnitまで予習をしてくること。また、必要に応じてビデオ教材を視聴し、課題を提出すること。		
キーワード / Keywords	ニュース、CNN、BBC		
教科書・教材・参考書 / Materials	CNNショートニュースを用いたリスニング・リーディング		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	オリエンテーション アンケートへの回答 グループ分け	F
第2回	Unit 1、Unit 2 新聞記事の構成 グループ内でのディスカッション	A B
第3回	Unit 3、Unit 4 Short newsの構成 グループ内でのディスカッション	A B
第4回	Unit 5、Unit 6 Head lineの書き方 グループ内でのディスカッション	A B
第5回	Unit 7 気づきとは何かを理解する グループ内でのディスカッション	A B
第6回	Unit 8、Unit 9 アクセントとイントネーションについて理解する グループ内でのディスカッション	A B
第7回	グループで興味のあるニュースを選び、関連記事を探す、調べる。 関連記事について自分達の意見をまとめる。	A B
第8回	e-learning教材学習テスト(1回目) プレゼンテーションに使用するフレーズを学ぶ 関連記事について自分達の意見をまとめる。	A B
第9回	プレゼンテーション	A B
第10回	UNIT 10、UNIT 11 前回のフィードバック グループ内でのディスカッション	B
第11回	Unit 12、Unit 13 関連記事を読む グループ内でのディスカッション	D
第12回	Unit 14、Unit 15 関連記事を読む グループ内でのディスカッション	D
第13回	グループで興味のあるニュースを選び、関連記事について自分達の意 見をまとめる。	D
第14回	グループで興味のあるニュースを選び、関連記事について自分達の意 見をまとめる。	B
第15回	e-learning教材学習テスト(2回目) プレゼンテーション	A C

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/23		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013034	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2L(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2L(英2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fujiuchi tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000 (内線335)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	外語大335研究室にて随時・要確認		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業では、伝達手段としての英語の基本的な技能と、特に読解能力と聴取能力の相関関係を解説した後、読解と聴取の能力を総合的に向上させる訓練を行う。最終的には、「読んで分かる英語」から「聞いて分かる英語」へと、受講生の英語力を向上させる。		
授業到達目標/Course goals	英語のテレビ放送を聞いて内容を説明できる程度の英語運用能力の獲得を目的とする。正しくe-learningが行われ、予復習も適切である場合、CEFR A2レベルがそれ以上の習熟度に到達する予定である。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	全て主教材より 定期試験40%(単語理解6%、本文内容ディクテーション 14%(部分点あり)、内容理解15%、課題英作文 5%(部分点あり)) 平常点20%(英作文提出と副教材解答結果提出) 課外学習のe-learning 教材学習テスト40%(1回目 20% + 2回目 20%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	主教材: NHK NEWSLINE2 (金星堂) 副教材: Campus Listening(成美堂)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	教科書を購入し、発音記号が載っている英和辞典を必ず携行して授業に臨むこと。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	この講義では、DVD素材を利用して音読訓練を行います。タイムを指定して音読させるタイムアタック、テキストを後追いさせるオーバーラッピング、シャドウイングなど、学生の習熟度を診て判断します。
学生へのメッセージ/Message for students	DVDを見て、放送を一通り音読で真似てみる程度の事前訓練をしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	10/3 オリエンテーション、座席決定、教科書販売、期末試験の仕様発表、講義の心得確認
第2回	10/10 副教材 Unit 1、主教材 教科書 Unit 1、新章へ
第3回	10/17 副教材 Unit 3、主教材 教科書継続、または新章へ
第4回	10/24 副教材 Unit 4、主教材 教科書継続、または新章へ
第5回	10/31 副教材 Unit 5、主教材 教科書継続、または新章へ
第6回	11/7 副教材 Unit 6、主教材 教科書継続、または新章へ
第7回	11/14 副教材 Unit 7、主教材 教科書継続、または新章へ
第8回	11/21 e-learning教材学習テスト第一回目 副教材 Unit 8、主教材 教科書継続、または新章へ
第9回	11/28 副教材 Unit 9、主教材 教科書継続、または新章へ
第10回	12/5 副教材 Unit 11、主教材 教科書継続、または新章へ
第11回	12/12 副教材 Unit 12、主教材 教科書継続、または新章へ
第12回	12/19 副教材 Unit 13、主教材 教科書継続、または新章へ
第13回	1/9 副教材 Unit 14、主教材 教科書継続、または新章へ
第14回	1/16 副教材 Unit 21、主教材 教科書継続、または新章へ
第15回	1/23 e-learning教材学習テスト第二回目 副教材 Unit 24、主教材 教科書終了
第16回	2/6 定期試験 90分、提出物最終締め切り

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/23		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013035	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2L(英3)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2L(英3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a_yamaguchi_n-junshin.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	0957846-0084		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日本でも親しまれている英米の物語を読むことによって、文法力や語彙力を増やし、英文の読解力を強化することを目標とする。またCDを聞くことでリスニング力を付け、英文のリズムをつかむ。さらに本来言語と切り離して考えることの出来ない文化的背景に触れながら生きた英語を味わっていく。本年度はシャーロック・ホームズ・シリーズの代表的な短編2編をテキストとして取り上げる。		
授業到達目標/Course goals	英語の文法力や語彙力を増やし、重要な構文を把握しながら、長文の読解力を強化することができるようにする。CDに収められている生き生きとした英語を聞くことで、リスニング力を向上させ、英文独特のリズムやイントネーションを体得できるようにする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への積極的な取り組み状況(発表とクイズ) 10% 定期試験 50%、 e-Learning教材学習テスト 40% (1回目20% + 2回目20%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回指定した範囲の和訳、問題演習を予習しておく。 授業の復習として毎回出されるクイズをやっておく。		
キーワード / Keywords	リーディング、リスニング、英文法、語彙、構文把握、		
教科書・教材・参考書 / Materials	Mystery Tour with Sherlock Holmes (センゲージ ラーニング)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	あらかじめ指定された担当者は和訳を発表すること。担当者以外の学生も毎回和訳、問題演習の予習をして授業に臨むこと		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	シャーロックホームズの短編の中でも特に人気のある物語を取り上げています。物語を読む楽しさが、きっと英語学習への動機を高めてくれるでしょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション (授業の進め方、シャーロック・ホームズ・シリーズとその英語について、 Warm-Up)
第2回	Unit1: The Red-Headed League, An Easy Job リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第3回	Unit2: The Red-Headed League, Mr. Wilson Is Put to a Test リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第4回	Unit3: The Red-Headed League, Job Suddenly Ends リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第5回	Unit4: The Red-Headed League, Holmes Gathers Information リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第6回	Unit5: The Red-Headed League, Setting the Trap リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第7回	Unit6: The Red-Headed League, Holmes Explains the Plan (1) リーディング、問題演習、リスニング
第8回	e-Learning 教材学習テスト1回目 Unit6: The Red-Headed League, Holmes Explains the Plan (2) リーディング、問題演習、ディクテーション、ペアワーク
第9回	Unit7: The Adventure of the Copper Beeches, A Job with Strange Requirements リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第10回	Unit8: The Adventure of the Copper Beeches, The Work Begins リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第11回	Unit9: The Adventure of the Copper Beeches, A Strange Observer リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第12回	Unit 10: The Adventure of the Copper Beeches, Miss Hunter Looks Around リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第13回	Unit 11: The Adventure of the Copper Beeches, Mr. Holmes Has an Idea リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第14回	Unit 12: The Adventure of the Copper Beeches, Mr. Rucastle's Terrible Fate (1) リーディング、問題演習、リスニング
第15回	e-Learning 教材学習テスト2回目 Unit 12: The Adventure of the Copper Beeches, Mr. Rucastle's Terrible Fate (2) リーディング、問題演習、ディクテーション、ペアワーク
第16回	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013036	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2L(英4)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山崎 祐一 / Yuichi Yamasaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山崎 祐一 / Yuichi Yamasaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山崎 祐一 / Yuichi Yamasaki		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2L(英4)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yamasaki sun.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	yamasaki sun.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	yamasaki sun.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	異文化理解に関する問題を数多く取り上げ、リスニングとスピーキングを中心とした英語運用能力を強化しつつ、外国語習得に必要な不可欠な目標言語圏の文化的背景を学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	コミュニケーション活動を通して、実用的、且つ斬新な英語表現を習得する。また、英語圏の文化、地理、日常生活について知見を広めていく。英語圏における行動様式を、英語圏に住む人々の意識や価値観に強く訴える性質を有するものとして観察し、その中に見ることが出来る英語圏と日本における文化や思想の違いについて理解する。また、日本人にとって困難な英語の発音を、日本語との比較を通して解説し、その習得を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト(3step CALL System, Power Words) 40% Midterms 20%, Final Exam 20%, Class Participation 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回の予習復習として、会話表現を音読し暗記する。また、英語圏文化の特徴について指定の章を読んでおく。		
キーワード / Keywords	異文化間コミュニケーション、スピーキング、リスニング、発音		
教科書・教材・参考書 / Materials	英会話の教科書(Jリサーチ出版)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	遅刻・欠席に注意してください。英語や異文化について楽しく学びましょう!		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	英語の音声システム (日本語との比較と発音練習)	B
第2回	初対面のあいさつ、自己紹介	B
第3回	別れのあいさつ・久しぶりに会う	B
第4回	お礼を言う・謝る	B
第5回	ほめる・誘う	A
第6回	お悔やみ	B
第7回	人間関係は対等・まず結論ありき	B
第8回	e-learning教材学習テスト1回目、中間テスト	B
第9回	日本流「謙虚さ」から生じる誤解・非言語メッセージ	B
第10回	色の表現・語順はやっかいだ	B
第11回	そのカタカナ英語、通じない!	B
第12回	曖昧表現・間接表現	B
第13回	謙譲表現・丁寧さを出すノウハウ	A
第14回	e-learning教材学習テスト2回目、中間試験	B
第15回	まとめ	B
第16回	期末試験	A

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013037	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2L(英5)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2L(英5)クラス		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo@hotmail.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	E-mailで受け付けます。 r_otsubo@hotmail.co.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業は、「食品ロス」、「インスタ映え」などの昨今、話題になったニュース記事を通し、時代の流れとともに出てきた新たな問題について認識を深めていく、読解を中心とした授業です。また、ニュース記事の構成にも触れ、新聞記事の読み方についても確認していきます。		
授業到達目標/Course goals	1. テキストで扱うトピックを多角的視点から捉えることができるようになる。 2. 論理的・批判的に物事を考える能力を身に付けることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み・復習テスト20% + e-learning教材学習テスト40% (1回目20% + 2回目20%) + 定期試験40% = 合計100%のうち60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業前にテキストで扱うトピックについてインターネットや書籍を用い、テキスト内に出てくる専門用語について調べておいて下さい。また、翌週に復習テストを行うのでしっかり復習しておいて下さい。		
キーワード / Keywords	World News		
教科書・教材・参考書 / Materials	Jump into the World through News in English (三修社) ¥1,900 + 税		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業は全回、予習をして臨んで下さい。 授業参加について Introduction で説明をしますので必ず1回目の授業に出席して下さい。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回目	教科書販売・Introduction
2回目	Japan's smart speaker market heats up as Line faces off against Google and Amazon
3回目	復習テスト Race is on to set up Europe's electric car charging network
4回目	復習テスト Sumo association to thank women for providing first aid on dohyo
5回目	復習テスト Head of ruined kimono business faces the music and says sorry
6回目	復習テスト Lawmakers weigh compensation for victims of forced sterilization under Japan's defunct eugenics law
7回目	復習テスト Top Japan court finds paying NHK broadcast fee "legal obligation"
8回目	e-learning教材学習テスト 1回目 Ancient Japanese capital to put up tourists in historic prison
9回目	復習テスト Abe's proposal to boost regions through Instagram seen as shallow
10回目	復習テスト Companies doing their part to cut down on food waste in Japan
11回目	復習テスト Sea critters hitchhiked across the Pacific on tsunami debris
12回目	復習テスト Nepal bans solo climbers from Everest
13回目	復習テスト Pope Francis prints pictures of Nagasaki atomic bomb victims in warning over 'fruit of war'
14回目	e-learning教材学習テスト 2回目 Survivor marks 6 minutes of strength and silence at rally
15回目	復習テスト American actress Meghan Markle to be a new kind of royal
16回目	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590013038	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2L(英6)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	教育2L(英6)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	etsukolawn hotmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、またはメールにて質問を受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>本授業では、大学や社会で必要とされる英語の基礎能力の習得を目指します。英語は、世界とつながるための有効なツールです。今後、英語を使えるようになると、あなたの世界はグローバル単位で大きく広がりますし、職業上でも様々なチャンスを得られる機会が増えることでしょう。本授業では、皆さんになかなか機会のない英語の「話す」「書く」のアウトプットの能力の向上を目指す活動に慣れ親しんでもらい、これまでの「知識としての英語」から実際に「使える」コミュニケーション能力を1つでも多く身につけてもらうことを目指します。</p> <p>授業では、上記の目標を達成するために必要な表現・スキルの説明と演習をします。さらに授業内容を定着するために、ほぼ毎レッスン小テストを行います。テキストをベースに基礎的なコミュニケーションに役に立つような表現を学習していきます。また、新しい語彙、表現力を増やすためにネイティブスピーカーの生活圏にある素材を用いた教材、洋画 (DVD視聴) を使用し、Readers' theater (朗読劇) などの活動を通して日本人学習者の苦手なイントネーション、単語のつなぎ方、間の取り方などの改善を図り、ペアワーク、グループワークをより多く取り入れて授業を進めていきます。英語圏の文化、習慣の違いにも触れていきます。</p> <p>1回の授業は、以下の流れで進めていきます。</p> <p>(1) LACSによる小テスト</p> <p>(2) テキストを使用した演習 (グループワーク、Readers' theater 等の学習を含む)</p> <p>(3) 3分間英語で (フリーorトピック) トーク 録音 ディクテーション & 自己評価</p> <p>(4) 洋画視聴 (5分程度)</p> <p>提出されたグループワーク等は、添削評価して返却します。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>(1) 異文化について書かれたトピックの英文を要約できるようになる。</p> <p>(2) 与えられた写真 (あるいは絵) を見て的確に英語で表現することができるようになる。</p> <p>(3) やや簡易な会話を聞いて要約できるようになる。</p> <p>(4) その会話の和訳を英訳できるようになる。</p> <p>(5) 与えられたトピックについて3分間会話を続けることができるようになる。</p> <p>(6) 洋画を英語音声、英語字幕で視聴し、内容をある程度理解することができるようになる。</p> <p>(7) 洋画のある映像の発音、イントネーション、間等を練習しネイティブにより近い発音で音読できるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験20%、授業中への取り組み、小テスト、グループワーク、Readers' theater 40%、課外学習のe-learning(e-Learning教材学習テスト2回40% (3 Step Call System, Power Words))を総合的に判断します。
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各自テキスト付属のOnline Self-study等を使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。
キーワード/Keywords	リピーティング、ディクテーション、音読
教科書・教材・参考書/Materials	教科書としてJack C. Richards・David Bohlke 著『Four Corners 3 Student's Book B with Online Self-study』Cambridge University Press - ISBN:978-1-108-55982-9を使用します。 *第1回目の授業までに、必ず生協の販売コーナーで各自購入して下さい。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	教科書、配布物を毎回持参、また毎回授業に出席すること(時間厳守)。 学習する内容は、きちんと予習、復習すること!
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	英語が話せる(使える)と世界(チャンス)が広がります。今できることをどんどんトライして下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1回 10月4日	第1回のオリエンテーションの授業では、授業で扱う内容や学習方法、授業の進め方、評価方法などを説明します。また、Self-introduction、DVD視聴(2回目以降も継続的に視聴)を予定しています。授業は、演習形式で行います。授業では、眠ったボキャブラリー&表現を「使える」英語へと変えるために、受講生には、ペアワーク、グループワークを通して出来る限りアウトプット能力を高めるためにスピーキング&ライティングなどの機会を設けます。特に、スピーキングの明瞭さを向上させるために、DVDの視聴、補助教材も適宜使用しReaders' theater(朗読劇)などの活動を通して、イントネーション、間の取り方などに焦点をあてて練習していきます。また、スピーキングの弱点を克服するために、学習した表現が適切に使われているか等確認しながら練習していきます。会話の練習を何度も繰り返すことにより、日本語と英語の発想の違いなどを体感してほしいと思います。テキスト付属のOnline Self-studyを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。また、本授業では、e-learning教材を課外学習として取り組んでもらいます(評価40%)。*(G/W) Group workの省略
第 2回 10月11日	テキスト Relationships
第 3回 10月18日	Relationships *(G/W)
第 4回 10月25日	Relationships
第 5回 11月1日	テキスト Relationships & Personality
第 6回 11月8日	テキスト Personality, e-learning 復習他
第 7回 11月15日	Readers' theater ?@ (G/W)
第 8回 11月22日	1回目e-learning 教材学習テスト(3step, Power words), Personality
第 9回 11月29日	Personality
第10回 12月6日	Personality & テキスト On Vacation
第11回 12月13日	On Vacation (G/W) / Readers' theater ?A (G/W)
第12回 12月20日	On Vacation
第13回 1月10日	On Vacation, e-learning 復習他
第14回 1月24日	2回目e-learning 教材学習テスト(3step, Power words), Review
第15回 1月31日	Review
第16回 2月7日	定期試験